Nikon

ニコンデジタルカメラE910

COOLPIX910

クールピクス910



使用説明書

J

安全上のご注意

この使用説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他人への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを記載しています。
内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表記の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は感電注意）が描かれています。

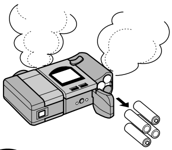


⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること(必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠警　告





電源プラグを
コンセントから抜く



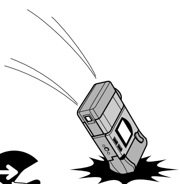
電池を取る



すぐに修理依頼を

異常を感じた場合は、電源（電池やACアダプタ）をすぐ取り外すこと

万一煙が出ている、変なにおいがする、異常な発熱などの状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源（電池やACアダプタ）を取り外してください。電源を取り外す際、火傷に十分注意してください。
ACアダプタをご使用の場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店および当社サービス部門に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですので絶対おやめください。





電源プラグを
コンセントから抜く



接触禁止

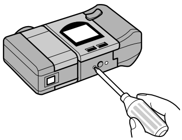


すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときには、露出部に手を触れないこと

万一本機器を落下などによって強い衝撃を与えたり、破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源（電池やACアダプタ）を取り外して、販売店および当社サービス部門に修理を依頼してください。そのまま使用すると感電したり、破損部でケガをすることがあります。ACアダプタをご使用の場合は、ACアダプタを取り外した後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警　告





分解禁止

本機器やACアダプタを分解したり、修理・改造をしないこと

異常動作をして火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店および当社サービス部門にご依頼してください。

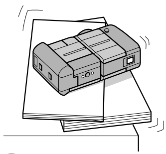


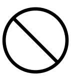


水かけ禁止

内部に水や物を入れないこと

水や異物が入ると火災・感電の原因となります。本機器は防水構造になっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源（電池やACアダプタ）を取り外して、販売店および当社サービス部門に修理を依頼してください。ACアダプタをご使用の場合は、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



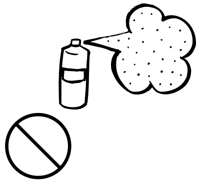


放置禁止

不安定な場所に置かないこと

本機器が落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。

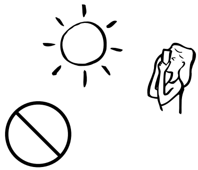
⚠警　告



使用禁止

可燃性ガスの雰囲気中で使用しないこと

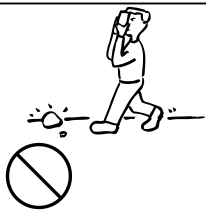
爆発・火災の原因となります。



見ないこと

ファインダーから直接太陽や強い光を見ないこと

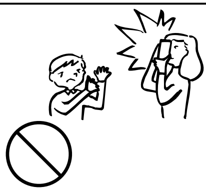
失明や視力障害の原因となります。



歩行禁止

歩行中や運転中に使用しないこと

つまずいたり、転倒したりしてケガや、交通事故の原因となります。



発光禁止

特に乳幼児の目の近くでスピードライトを発光しないこと

視力障害の原因となります。
また、運転者に向けて発光すると、目がくらみ運転不可能になり、事故を起こす原因となります。

⚠警　告



禁　止

電池は火に入れたり、ショート、分解、加熱しないこと

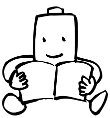
電池の破裂、液漏れにより、火災・ケガの原因となります。



電池の液漏れがした場合

●液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときには、水でよく洗い流してください。

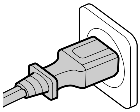
●目に入った時には、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。



禁　止

指定の電池または専用ACアダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。



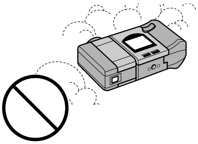
禁　止

ACアダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

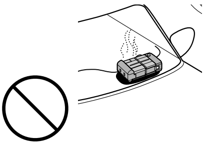
⚠注　意



放置禁止

湿気やほこりの多い場所に置かないこと

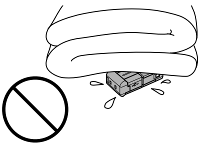
火災・感電の原因となることがあります。



放置禁止

窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

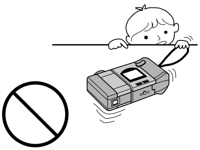
ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁　止

本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

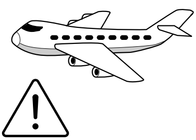
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。



放置禁止

製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること

ケガの原因となることや付属品を飲み込む恐れがあります。

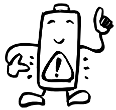


使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

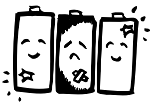
⚠注　意



使用注意

電池に表示された警告、注意を必ず守ること

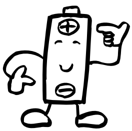
電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。



禁　止

新しい電池と古い電池、種類の異なる電池をまぜて使用しないこと

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

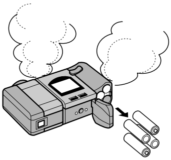


使用注意

電池の本機器への取り付けは、プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れること

発熱、発火により火災の原因となることがあります。

⚠注 意



禁 止

長期間使用しない時は電源（電池やACアダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプタでご使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラの洗浄に使用しないこと

火災や健康障害の原因となることがあります。
製品を破損します。



移動禁止

三脚にカメラやブラケットなどを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因となります。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください
温度差が極端となる場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について
手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを小量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には
カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。
また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように月に一度を目安に、電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●電池やACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください。
電源オンの状態で、電池の取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中または、記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

電池の取り扱いについて

●電池使用上のご注意

乾電池は使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- 電池で長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますので注意してください。
- ＋／－の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電させたり、ショートさせたり、分解したりしないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。
- 使用期限の過ぎた電池は使用しないでください。

●撮影時には液晶モニタをOFFにして電池の消耗を防ぐ

撮影する場合に、液晶モニタをOFFにしてファインダーのみで撮影することで、電池の消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

●予備電池を用意する

撮影の際は、新品の予備の電池をご用意ください。特に、海外の地域によっては電池の入手が困難な場合があります。付属の電池は購入時の作動テスト用ですので、寿命が短い場合があります。

●低温時には新しい電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

はじめに

このたびは、ニコンデジタルカメラCOOLPIX 910（E910）をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書を最後までお読みいただき、充分ご理解のうえ、カメラを末永くご愛用いただくようお願いいたします。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■保証書とユーザー登録カードについて

この製品には保証書とユーザー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等）ついては、補償致しかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

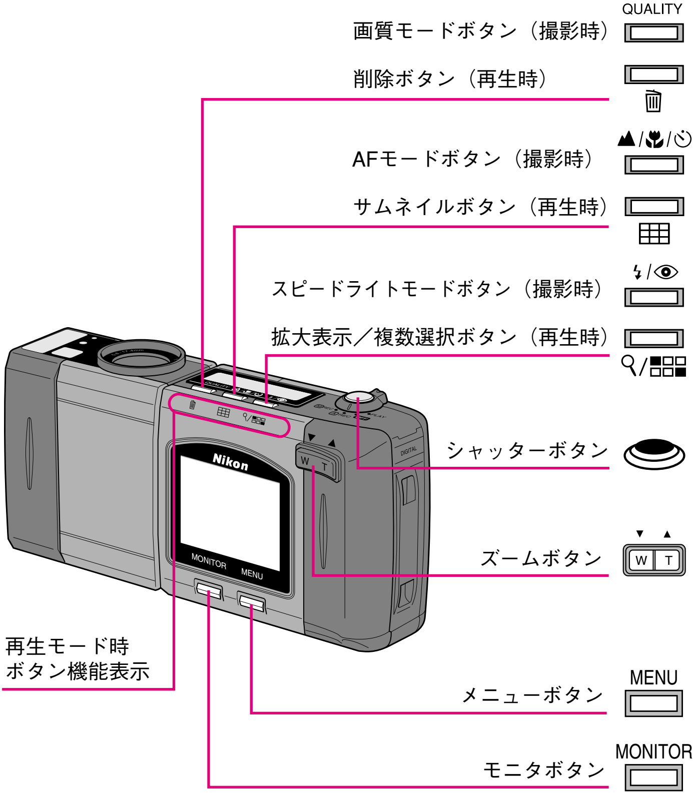
■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintoshは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-9801, PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

表記上のおことわり

この使用説明書の本文中では、操作ボタンを以下のように表記します。



使われているマークについて

… —— 補足内容が書いてあります。

☞ P.00 —— 参照ページが書いてあります。

● —— 注意していただきたいこと、してはならないこと、これらを守らなかったときに予測される不具合が書いてあります。

説明書の使い方

本使用説明書の構成

この使用説明書は、操作しながら自然にCOOLPIX 910が理解できることを目的にして、基本操作から応用操作へと順を追って、下記のように構成されています。

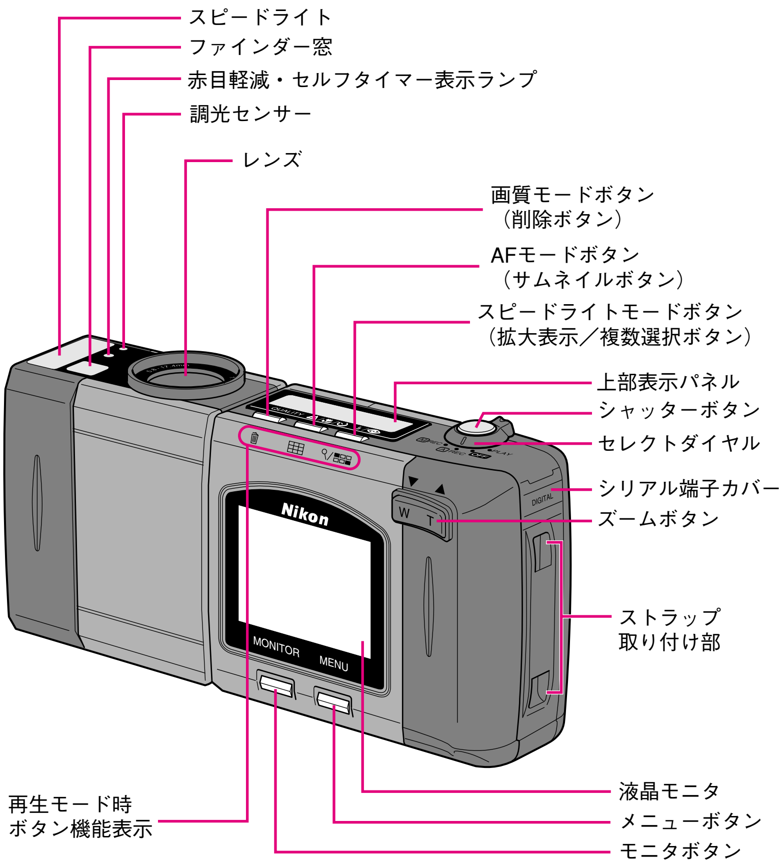
ご使用になる前に	カメラを安全にお使いいただくためのご注意などを説明しています。
撮影前の準備	カメラを使うための準備として、電池やコンパクトフラッシュカードの入れ方、カメラの設定などについて説明しています。
クイックガイド	デジタルカメラを初めてお使いになる方にも簡単に行える撮影と再生の方法を説明してあります。
基本的な使い方	カメラの基本的な機能を紹介し、それぞれの設定方法を説明しています。
応用的な使い方	メニュー機能を使ったいろいろな撮影・再生方法について説明しています。
接　　続	テレビ、パソコンなどの外部機器との接続方法の概要などを説明しています。
参　　考	別売アクセサリー、警告表示がでたときの対応方法やカメラの仕様などを紹介しています。

■本書の内容については、予告なく変更することがあります。
■本書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社サービス部門までご連絡くださいますようお願いいたします。
■本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。

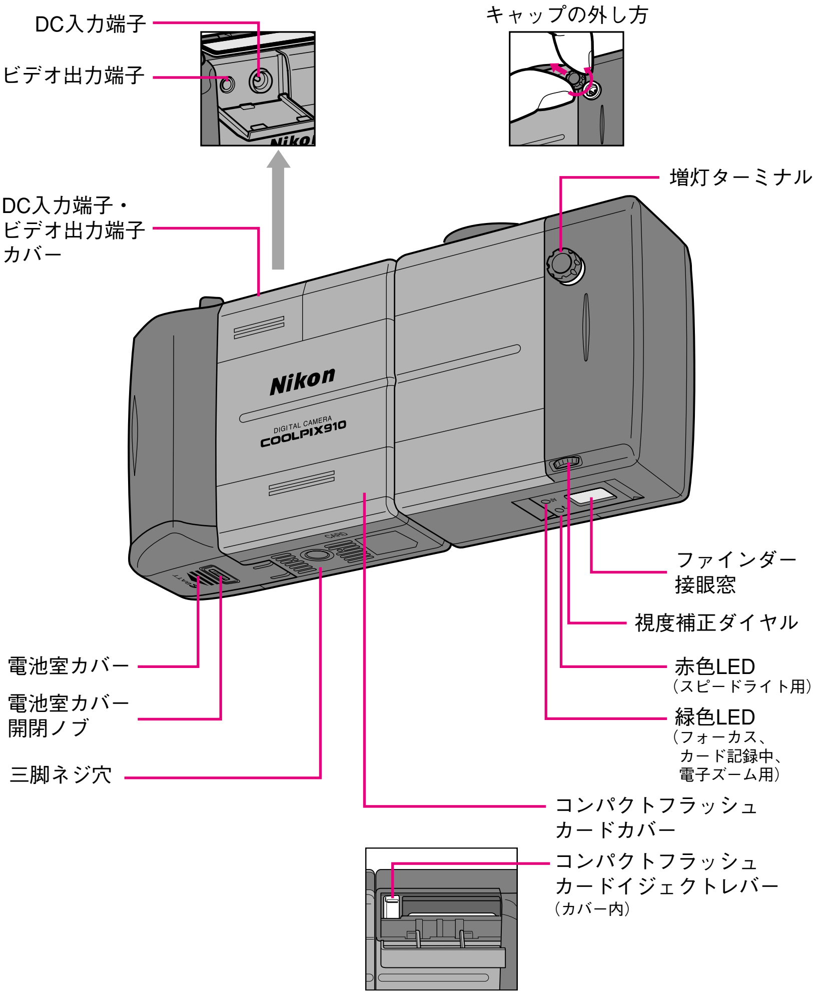
目次

目次（つづき）

各部の名称



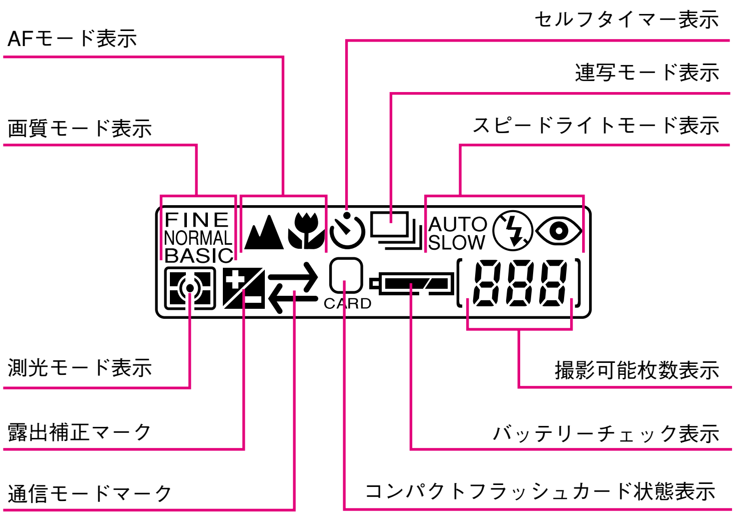
スピードライト
ファインダー窓
赤目軽減・セルフタイマー表示ランプ
調光センサー
レンズ
画質モードボタン
（削除ボタン）
AFモードボタン
（サムネイルボタン）
スピードライトモードボタン
（拡大表示／複数選択ボタン）
上部表示パネル
シャッターボタン
セレクトダイヤル
シリアル端子カバー
ズームボタン
ストラップ
取り付け部
液晶モニタ
メニューボタン
モニタボタン
再生モード時
ボタン機能表示
Nikon
MONITOR
MENU
DIGITAL
W
T
QUALITY
PLAY
OFF


DC入力端子
ビデオ出力端子
キャップの外し方
増灯ターミナル
DC入力端子・
ビデオ出力端子
カバー
Nikon
DIGITAL CAMERA
COOLPIX910
ファインダー
接眼窓
視度補正ダイヤル
赤色LED
（スピードライト用）
緑色LED
（フォーカス、
カード記録中、
電子ズーム用）
電池室カバー
電池室カバー
開閉ノブ
三脚ネジ穴
コンパクトフラッシュ
カードカバー
コンパクトフラッシュ
カードイジェクトレバー
（カバー内）

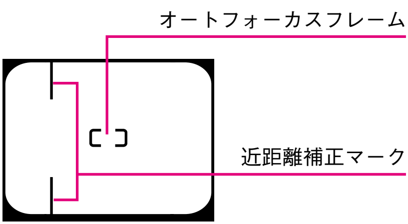
各部の名称（つづき）

上部表示パネル

（図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています）



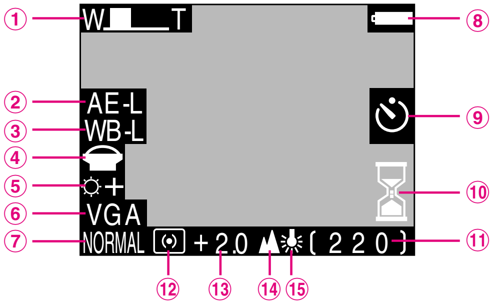
ファインダー内



…ファインダーを使用して撮影する場合は、被写体距離が約80cmより近いとファインダー視野と実際に記録される範囲にズレが生じます。近距離補正マークはおおむね被写体距離50cmに対応する範囲を示しています。ズレを最小とするためには液晶モニタとの併用をおすすめします。

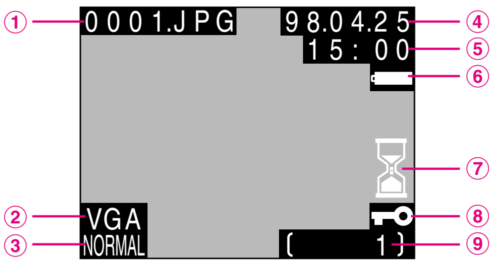
…電子ズームモードでの撮影時には、ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで確認してください。

液晶モニタ（撮影モード時）



① ズーム表示
② AEロック表示
③ WB（ホワイトバランス）ロック表示
④ コンバータ表示
⑤ 階調補正モード表示
⑥ VGA撮影モード表示
⑦ 画質モード表示
⑧ バッテリーチェック表示
⑨ セルフタイマー表示
⑩ WAITマーク
⑪ 撮影可能枚数表示
⑫ 測光モード表示
⑬ 露出補正値表示
⑭ AFモード表示
⑮ ホワイトバランス表示

液晶モニタ（再生モード時）



① 画像ファイル名
② VGA撮影モード表示
③ 画質モード表示
④ 撮影日付表示
⑤ 撮影時刻表示
⑥ バッテリーチェック表示
⑦ WAITマーク
⑧ プロテクト表示
⑨ 表示画像コマ番号表示

撮影前の準備

撮影に入る前に準備していただきたいことが書かれています。

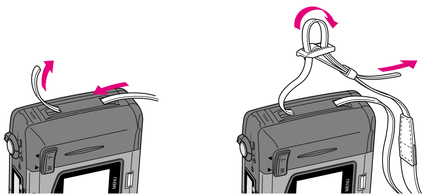
付属品について

付属品の確認

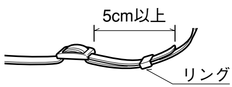
梱包を開封後、速やかにすべてのものが入っているかを「梱包物の確認」を参照して確認してください。もし欠けているものがあるようでしたら、お買い求めいただきました販売店にお問い合わせください。

ストラップの取り付け方

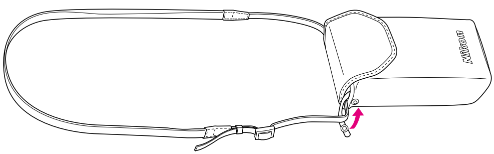
ストラップはイラストのように取り付けてください。



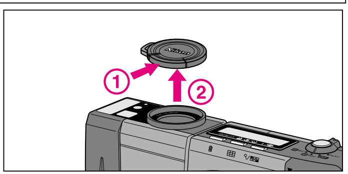
…ストラップの先端は、留め具から5cm以上引き出してリングを通してください。



…携帯の際は、本体を付属のソフトケースに入れ、ストラップを外に出しておくと便利です。



レンズキャップの取り付け方



・レンズキャップはスプリング方式ですのでレバーを押し込んで取り外しを行ってください。
・レンズキャップには紛失を防止するための穴が開いています。ひも等を通してストラップに結んでおくと便利です。

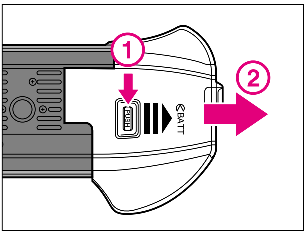
電池の入れ方

電池は単3形電池を4本使用します。使用可能な電池はアルカリ電池、リチウム電池、ニカド電池、ニッケル水素電池です。

●単3形マンガン電池は電池寿命が短く、使用できません。
●1本で3Vの電圧の単3形電池は使用できません。
●単3形電池の中には、性能不充分のものが存在します。

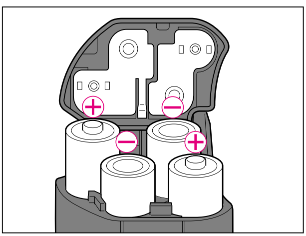
電池の取り扱いについては ☞P.11

1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、①電池室カバー開閉ノブを押しながら、②電池室カバーを矢印の方向にスライドさせ、電池室カバーを開ける。



●電池室カバーを開けるときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

2 ⊕ ⊖ の指示に従って電池を入れ、電池室カバーを閉める。



●⊕ ⊖ を間違えると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

●カメラの使用直後には電池が熱くなっていることがありますので、電池を取り出す場合にはカメラの電源をオフにして電池の温度が下がるのを待ってから取り出してください。
●カメラを使用しないときはセレクトダイヤルをOFFにセットしてください。
●電池を交換する場合は、すべての電池を同時に交換してください。
●使用する電池は、同一メーカー、同一タイプの電池を新旧取り混ぜずにご使用ください。
●電池室カバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
●カメラを三脚や別売増灯ブラケットにに取り付けた状態で電池交換はできません。
●液晶モニタ使用時で約60分（新品単3形アルカリ電池使用・常温20℃での連続使用時）の撮影が可能です。

参考値：連続撮影コマ数（電池寿命）

	液晶モニタONで撮影	液晶モニタOFFで撮影
アルカリ電池（付属品）	約120コマ	約400コマ
ニカド電池（700mAh）	約90コマ	約320コマ
ニッケル水素電池（1300mAh）	約150コマ	約480コマ
単3形リチウム電池	約260コマ	約800コマ

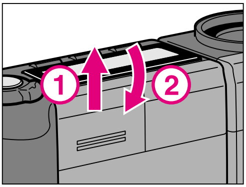
※測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のストロボ撮影、FINEモード）によります。
※電池の寿命はブランドやグレードにより差がありますので、常温（20℃）使用時の目安です。
※撮影する際に、液晶モニタを切って（OFFにして）ファインダーのみで撮影することで電池の消耗を防ぐことができます。

専用ACアダプタ（別売）の使い方

専用のACアダプタEH-30（6.5V、2.5A）で家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

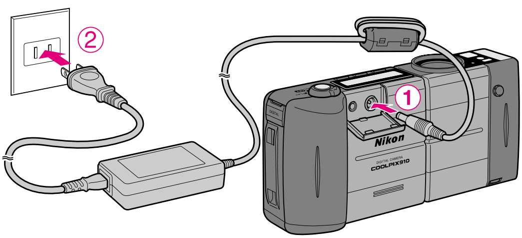
1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、ACアダプタのジャックを本体のDC入力端子に接続する。

…DC入力端子・ビデオ出力端子カバーは、① 上部表示パネル方向にスライドさせ、② 手前にあけて開けてください。



●ACアダプタ端子を抜き差しするときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

2 電源プラグをコンセントに接続する。



●本体のDC入力端子に専用のACアダプタEH-30以外のものを接続しないでください。
●ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ、カメラ本体が熱を持つことがありますが、故障ではありません。
●ACアダプタを接続して撮影を行うときは、ACアダプタのコードがレンズやスピードライト、センサー部にかからないよう注意してください。

セレクトダイヤルの機能

COOLPIX 910のセレクトダイヤルにはPLAY、A-REC、M-REC、OFFの4つのポジションがあります。
A-REC、M-RECのポジションにセットすると撮影モード、PLAYのポジションにセットすると再生モードになります。OFFにセットすると電源がきれます。

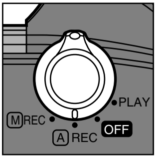
撮影モードのセット

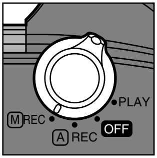
1 セレクトダイヤルをA-RECまたはM-RECにセットする。

…上部表示パネルが点灯し、カメラは撮影準備動作を行います。撮影準備動作が完了すると、液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。1〜2秒お待ちください。
撮影モニタ画面については☞P.21、49

A-REC すべての設定をカメラまかせにして簡単に撮影できるフルオートモードです。 詳細については☞P.48

M-REC 測光モード、露出補正、ホワイトバランス、階調補正、モノクロモード等の設定によって、特別な意図に沿った撮影が楽しめるモードです。 詳細については☞P.73

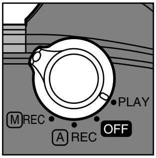




再生モードのセット

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

…上部表示パネルが点灯し、約2〜3秒後に液晶モニタに再生画面が表示されます。
再生画面については☞P.21、54



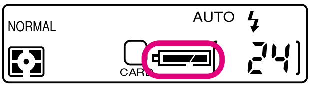
電池容量のチェック

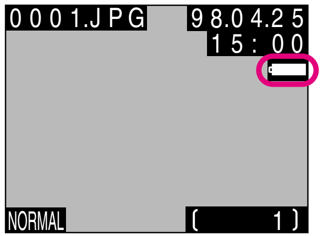
新たに電池を入れたときや撮影の前などには、電池容量をチェックしてください。

1 セレクトダイヤルをA-REC、M-RECまたはPLAYのいずれかにセットする。

…カメラの電源が入り、上部表示パネルと液晶モニタに表示が点灯します。

2 バッテリーチェック表示を確認する。





…バッテリーチェック表示の内容は以下の通りです。

表示	内容	カメラの状態
（点灯）	電池容量は充分です。	通常
（点灯）	電池容量はわずかです。 予備の電池を用意してください。	通常
（点滅）	電池の残量がなくなりました。 新しい電池と交換してください。	撮影不可 （メニューの操作は可能）

…電池の残量が全くなくなったときは、上部表示パネルと液晶モニタの表示が全部消灯し、撮影・再生・通信の全機能が停止します。

…電池残量がなくなっても、コンパクトフラッシュカードにいったん記録された画像・撮影データは保持されます。

●バッテーリーチェック表示が 点滅表示の状態でACアダプタを接続しても表示は 点灯に変化しません。セレクトダイヤルを一度OFFにしてから電源をオンにしてください。

●電池交換の際は、☞ P.11「電池の取り扱いについて」の注意事項を必ず守ってください。

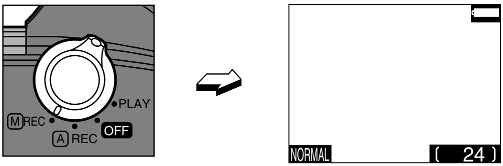
●単3形アルカリ電池以外では、バッテリーチェック表示が正常に表示されない場合があります。

年月日・時刻のセット

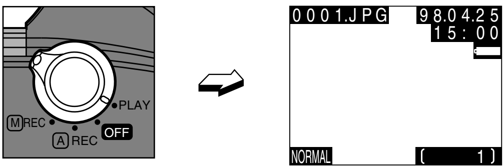
COOLPIX 910にはカレンダー機能付き時計が内蔵されており、撮影を行った日時が画像とともに記録されます。出荷時には時計の設定は行われておりませんので、以下の手順にしたがって日時設定を行ってください。

1 セレクトダイヤルをM-RECまたはPLAYにセットする。

［M-REC］でセットする場合



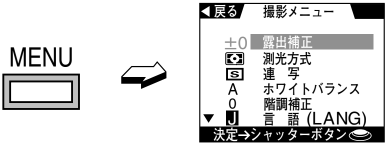
［PLAY］でセットする場合



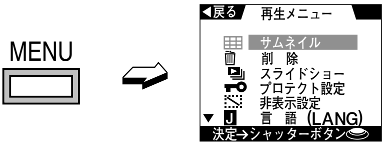
…セレクトダイヤルをM-RECにセットした場合は撮影モニタ画面が表示されます。時計が未設定の場合には、撮影モニタ画面に「00:00:00　00:00」が表示されます。
撮影モニタ画面については ☞P.21、49
…セレクトダイヤルをPLAYにセットした場合は再生画面が表示されます。
再生画面については ☞P.21、54

2 液晶モニタにメニュー画面を表示させる。

［M-REC］でセットする場合



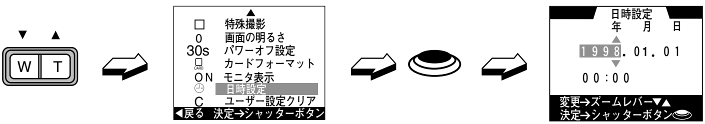
［PLAY］でセットする場合



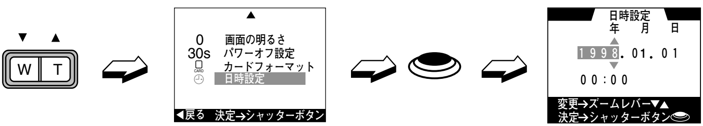
…セレクトダイヤルをM-RECにセットしてある場合は「撮影メニュー」画面が、PLAYにセットしてある場合は「再生メニュー」画面が表示されます。
撮影メニュー ☞ P.73、再生メニュー ☞ P.94

3 メニュー画面で「日時設定」を選択する。

［M-REC］でセットする場合

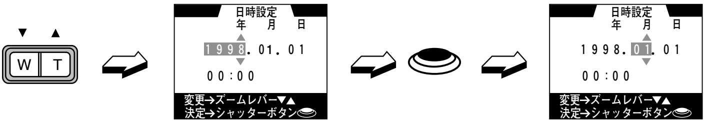


［PLAY］でセットする場合



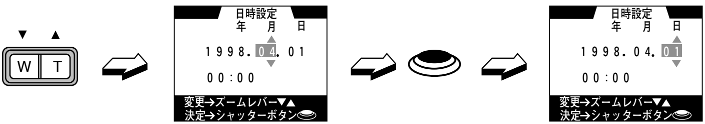
…ズームボタンを押すとカーソルが移動し、選択された項目が反転表示されます。「日時設定」にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと、「年」の設定変更画面（数値を変更する画面）に切り換わります。

4「年」の数値を合わせ、決定する。



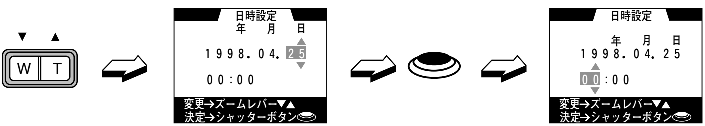
…ズームボタンのT（▲）を押すごとに数値が大きくなり、W（▼）を押すごとに数値が小さくなります。
…数値を合わせ終わったら、シャッターボタンを押すと、「年」の数値が決定し、自動的に「月」の設定変更画面に切り換わります。
…「年」の数値は、1970〜2037の範囲でセットできます。

5「月」の数値を合わせ、決定する。



…手順4と同様にズームボタンで「月」の数値を合わせます。数値を合わせ終わったら、シャッターボタンを押すと数値が決定し、自動的に「日」の設定変更画面に切り換わります。

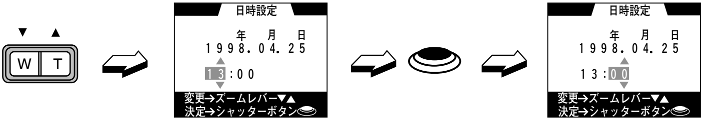
6「日」の数値を合わせ、決定する。



…手順4と同様にズームボタンで「日」の数値を合わせます。数値を合わせ終わったら、シャッターボタンを押すと数値が決定し、自動的に「時」の設定変更画面に切り換わります。
●実在しない日を選択した場合には、設定を終了した後に自動的に翌月の1日となります。

年月日・時刻のセット（つづき）

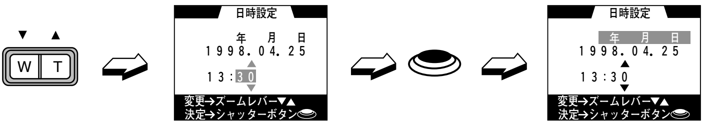
7 「時」の数値を合わせ、決定する。



…手順4と同様にズームボタンで「時」の数値を合わせます。数値を合わせ終わったら、シャッターボタンを押すと数値が決定し、自動的に「分」の設定変更画面に切り換わります。

…「時」の数値は24時間制です。

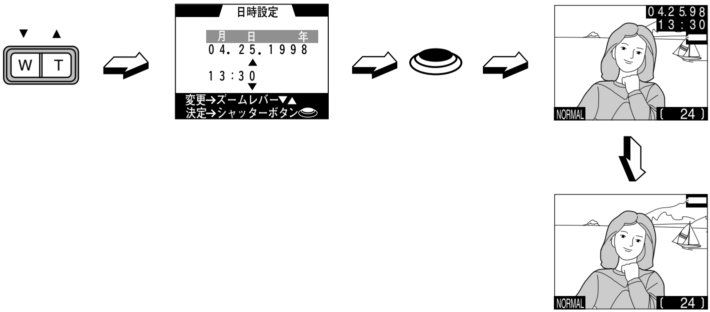
8 「分」の数値を合わせ、決定する。



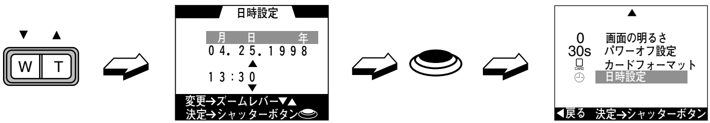
…手順4と同様にズームボタンで「分」の数値を合わせます。数値を合わせ終わったら、シャッターボタンを押すと数値が決定し、自動的に「日付表示順」の設定変更画面に切り換わります。

9「日付表示順」を合わせ、決定する。

［M-REC］でセットする場合



［PLAY］でセットする場合



…ズームボタンを押すと、日付表示順は以下の順に移動します。

→ 年 月 日 ←→ 月 日 年 ←→ 日 月 年 ←

…日付表示順を合わせシャッターボタンを押すと表示形式が決定し、自動的に日付設定のメニューを終了し、時計の計時が開始します。液晶モニタの画面は、M-RECでセットした場合は修正されたデータが約3秒間表示されてから撮影モニタ画面に切り換わります。PLAYでセットした場合は再生メニューに切り換わります。

バックアップ用電池について

COOLPIX 910には、時計の作動と、カメラの設定内容の記憶用に充電式リチウム電池が内蔵されています。
カメラに単3形電池を入れるか、別売の専用ACアダプタを使って家庭用電源に接続すると充電式電池の充電を開始します。
単3形電池の挿入または専用ACアダプタの接続が10時間継続されますと、約3日間のバックアップが可能となります。ただし、購入初期、および単3形電池を装てんしない状態で長期間未使用だった場合はバックアップ時間が短くなることがあります。
電池の充電は10時間を経過しますと自動的に停止します。単3形電池の抜き差し、専用ACアダプタの抜き差しによって電池の充電は再開されます。

- ●充電が不充分な場合、一度セットした日付データや、操作ボタン・メニューで設定した内容が失われることがあります。

コンパクトフラッシュカードについて

COOLPIX 910は画像データや撮影日時等の撮影データの記録メディアとして、コンパクトフラッシュカードを使用します。コンパクトフラッシュカードの取り扱いの詳細については、コンパクトフラッシュカードの使用説明書をご覧ください。

使用できるコンパクトフラッシュカード

本カメラの画像データ記録媒体としては、ニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズ［EC-8CF(8MB)/EC-15CF(15MB)/EC-30CF(30MB)/EC-48CF(48MB)］をお使いください。EC-CFシリーズ以外は動作保証しておりません。

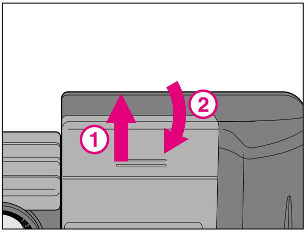
コンパクトフラッシュカード使用上のご注意

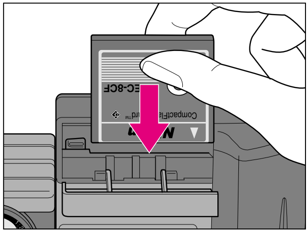
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- 未使用カードは必ずフォーマット（初期化）してからご使用ください。
  コンパクトフラッシュカードのフォーマットについては ☞ P.40
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。
- コンパクトフラッシュカードへ記録・削除が行われているときやコンピュータとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - ・カードの抜き差しをする
  - ・電源をオフにする
  - ・電池を取り出す
  - ・ACアダプタを抜く
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- コンパクトフラッシュカードカバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。

コンパクトフラッシュカードのセット

コンパクトフラッシュカードの装着

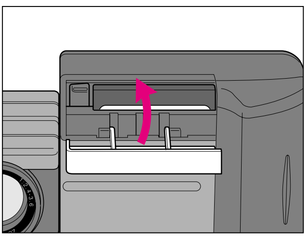
1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、コンパクトフラッシュカードを差し込む。





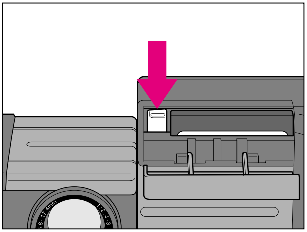
…コンパクトフラッシュカードカバーは、イラストの①の方向にスライドさせ、②手前に開けてください。
…コンパクトフラッシュカードは、イラストのように正しい向きにして、スロットの奥まで確実に差し込んでください。
●コンパクトフラッシュカードを装着するときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

2 コンパクトフラッシュカードカバーを閉める。



コンパクトフラッシュカードの取り出し

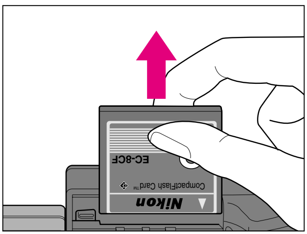
1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、コンパクトフラッシュカードイジェクトレバーを押し下げる。



…スロットに装着されたコンパクトフラッシュカードがリリースされ、抜くことができるようになります。

● カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。

2 コンパクトフラッシュカードを取り出し、カバーを閉める。



撮影可能枚数のチェック

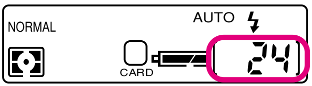
セレクトダイヤルをA-RECまたはM-RECにセットすると、上部表示パネルと液晶モニタに撮影可能枚数が表示されます。撮影可能枚数は、装着しているコンパクトフラッシュカードの記憶容量の残量と、設定されている画質モードによって異なりますので、撮影の前などには撮影可能枚数をチェックしてください。

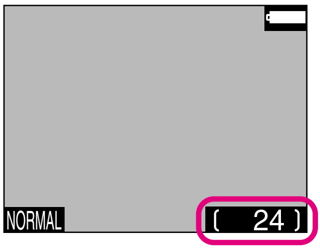
画質モードについては ☞ P.58

1 セレクトダイヤルをA-REC、M-RECのいずれかにセットする。

…カメラの電源がオンになり、上部表示パネルと液晶モニタに表示が点灯します。

2 撮影可能枚数表示を確認する。





…撮影可能枚数は撮影を行うごとにカウントダウンしていきます。撮影可能枚数が0になると撮影はできなくなり、液晶モニタに警告表示が表示されます。

警告表示については ☞ P.124



…撮影可能枚数の目安は以下の通りです（8MBコンパクトフラッシュカード装着時）。

画質モード	撮影可能枚数	
	フルサイズ画像（1280×960pixel）	VGAモード（640×480pixel）
FINE	12枚	48枚
NORMAL	24枚	96枚
BASIC	48枚	192枚

●撮影が終了しても残りコマ数が減らなかったり、消去しても残りコマ数が増えないことがあります。
●残り撮影コマ数が0の場合でも画質モード、記録サイズを切り換えることにより撮影が可能になることがあります。
●設定された画質モードおよび記録サイズによっては、撮影枚数が0になることもあります。
●画像ファイル名がDSC09999.JPGに達した場合にはそれ以上撮影ができません。カードを交換するか、カード内の画像を全削除してください。カード内の画像ファイルを選択消去（一番数字の大きいファイル名だけ残す）して撮影を何度も繰り返し行うと、カード内の一番数字の大きいファイルから加算されますので、カード内の画像ファイル名がDSC09999.JPGになる場合があります。
画像ファイル名については☞P.117
●コンパクトフラッシュカードの種類により、書き込み、読み出し速度が異なります。ニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズをお使いください。
●1枚のコンパクトフラッシュカードには999枚までの画像を記録することができます。

コンパクトフラッシュカードのフォーマット

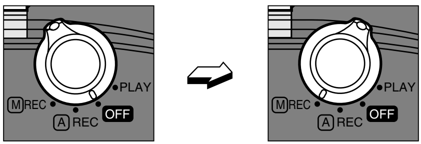
コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX 910本体で初めて使う場合には、カードのフォーマットが必要です。

●カードのフォーマットをすると、カード内のデータはすべて消去されます。

1 コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX 910にセットする。

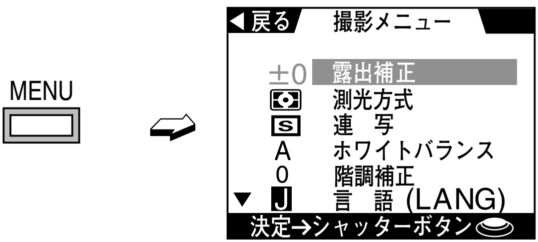
…コンパクトフラッシュカードのセットについては☞P.36

2 セレクトダイヤルをM-RECにセットする。

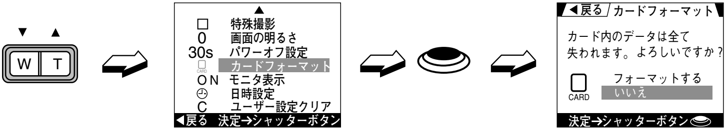


…液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。

3 撮影メニュー画面を表示させる。

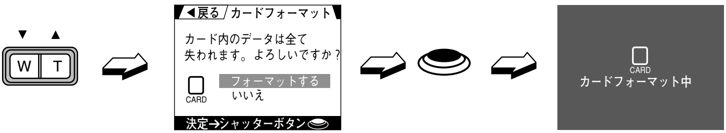


4「カードフォーマット」を選択する。



…撮影メニュー画面の2画面目に「カードフォーマット」メニューがあります。ズームボタンを押してカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すとカードフォーマット画面に切り換わります。

5「フォーマットする」を選択する。



…ズームボタンで「フォーマットする」にカーソルを合わせます。シャッターボタンを押すとフォーマットがはじまります。
…フォーマットが終了すると撮影モニタ画面に戻ります。上部表示パネルか液晶モニタの表示で撮影可能枚数を確認してください。
撮影可能枚数のチェック☞P.38
●シャッターボタンを押すとすぐにフォーマットがはじまります。取り消しはできませんので、注意してください。

オートパワーオフ機能

COOLPIX 910には、電池の消耗を防ぐため、一定時間カメラの操作が行わない場合に自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能が搭載されています。

…オートパワーオフ時には、上部表示パネルと液晶モニタの表示が消灯します。

…撮影・再生モードにおける設定状態は、カメラ本体内に記憶されます。

●オートパワーオフ状態のままカメラを収納しないでください。シャッターボタンが押された状態になると、オートパワーオフの解除・作動動作を繰り返して電池の消耗の原因となる恐れがあります。

オートパワーオフ機能の作動開始

単3形電池使用時

1. 撮影モード（A-REC、M-REC）時

撮影メニューの「パワーオフ設定」で設定された時間（30秒／1分／5分／30分）何も操作されない状態が続くとオートパワーオフとなります（メニュー表示時も同じ時間となります）。

…出荷時の設定ではオートパワーオフになるまでの時間は30秒にセットされています。

2. 再生モード（PLAY）時

再生メニューの「パワーオフ設定」で設定された時間（30秒／1分／5分／30分）何も操作されない状態が続くとオートパワーオフとなります（メニュー表示時も同じ時間となります）。

…出荷時の設定ではオートパワーオフになるまでの時間は30秒にセットされています。

3. ビデオ信号出力時

撮影モード、再生モードともにそれぞれの「パワーオフ設定」で設定された時間（30秒／1分／5分／30分）何も操作されない状態が続くとオートパワーオフとなり、ビデオ信号の出力は停止します。

なお撮影メニュー表示中は撮影の「パワーオフ設定」が30秒／1分であっても3分後にオートパワーオフになります（5分／30分の場合は設定された時間が有効になります）。

ビデオ信号出力については ☞ P.111

ACアダプタ使用時

1. 撮影モード（A-REC、M-REC）時、再生モード（PLAY）時

何も操作されない状態で30分経過するとオートパワーオフとなります。

2. ビデオ信号出力時

何も操作されない状態が30分経過すると、液晶モニタは消灯しますが、ビデオ信号は継続して出力されます。

オートパワーオフ機能の解除

カメラがオートパワーオフ状態のときにシャッターボタンの半押し操作、モニタボタンの操作があった場合、オートパワーオフは解除され、上部表示パネルと液晶モニタが点灯し、カメラはオートパワーオフ前に設定されていた状態に復帰します。

カメラの構え方

撮影を行う際は、カメラが動かないように両手でしっかりと保持して構えてください。シャッターをきるときにカメラが動くと、全体がブレた手ブレ写真になります。

…このカメラは、光学ファインダーを使った撮影と、液晶モニタを使った撮影とが行えます。撮影の状況に応じて使い分けてください。

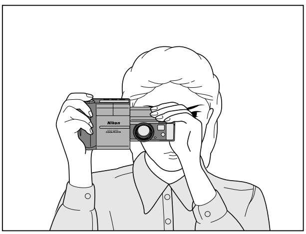
…レンズ部（レンズ、スピードライト、センサーなどがある部分）は回転する構造になっています。被写体に応じてファインダー・液晶モニタが見やすく、カメラをしっかりと持ちやすい角度に回転させて撮影を行ってください。

●カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコード、ビデオケーブルなどがかかったり写り込んだりしないように注意してください。

●カメラを機能させるために不可欠な可動部、開口部等に指や衣服をはさみこまないよう注意してください。

●レンズが汚れていないことを確認して下さい。レンズの汚れは、画質低下の原因となります。

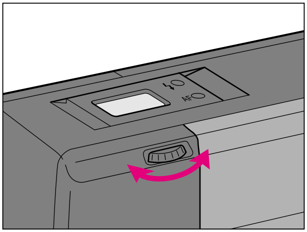
光学ファインダーを見ながら撮影する場合



右手でカメラのグリップを、左手でレンズ部を包みこむように持ち、カメラを顔に付けるようにしてファインダーをのぞきます。

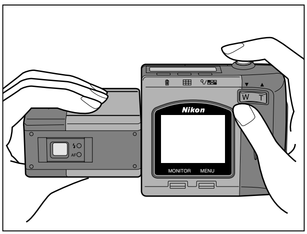
●光学ファインダーで太陽を直視しないでください。

このカメラのファインダーには視度補正ダイヤルが装備されています。ファインダー像が見えにくいときは視度補正を行ってください。



…視度補正ダイヤルを回して、最もシャープに見える位置に調節してください。
●ファインダーをのぞきながら視度補正ダイヤルを回転させる場合には、指先で目を傷つけないように注意してください。

液晶モニタを見ながら撮影する場合



右手でカメラのグリップをしっかりと持ち、左手でレンズ部を支えます。
…レンズ部は液晶モニタのある面を手前にした場合、液晶モニタに対し270゜回転できます。右手で液晶モニタを確認しやすい角度に保ち、構えやすいポジションにカメラ部を回転させて撮影を行ってください。
●レンズ部を回転させるときはゆっくりと行ってください。

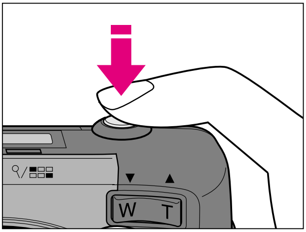
対面時の撮影について

レンズを液晶モニタ側に回して対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。また、ビデオ出力は上下逆に出力されます。

シャッターボタンの押し方

COOLPIX 910のシャッターボタンは、二段押し機構になっています。シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を「半押し」と呼びます。この半押し操作で撮影準備を行い、半押し状態からさらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

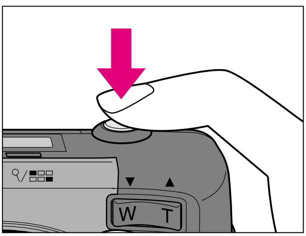
シャッターボタンの半押し



…シャッターボタンを半押しすると、液晶モニタ点灯時（常時オートフォーカス機構が作動しています）にはフォーカスロックして緑色LEDが点灯します。液晶モニタ消灯時にはオートフォーカス機構が作動し、ピントが合うとフォーカスロックして緑色LEDが点灯します。

…ピントが合わないときは、緑色LEDが高速点滅して知らせます。液晶モニタ点灯時はピントが合わなくてもシャッターがきれます。液晶モニタ消灯時はピントが合っていないとシャッターはきれません。

シャッターボタンの全押し



…シャッターボタンは一気に押さずに人差し指の腹の部分で軽く半押しした状態から、静かに押し込んでシャッターをきるようにしてください。シャッターボタンを一気に押すと、手ブレの原因となります。

…撮影が行われると、データがコンパクトフラッシュカードに書き込まれます。データの書き込み中は緑色LEDが点滅し、その間カメラの操作はできなくなります。

クイックガイド

撮影モードをA-REC（フルオート)モードにして行う簡単な撮影方法と、液晶モニタでの簡単な再生方法を説明しています。
初めてデジタルカメラをお使いになる方や、気軽に撮影したい方におすすめします。

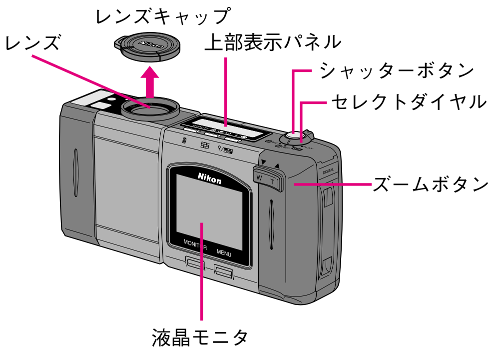
簡単な撮影

セレクトダイヤルをA-REC（フルオート）モードにセットすると、すべての設定をカメラまかせにして簡単に撮影が行えます。

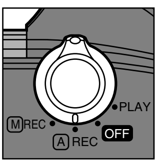
…A-REC時にも選択できる機能の設定状態は、下記の出荷時の設定を基準に説明しています。

AFモード	➪	通常AFモード
スピードライトモード	➪	自動発光モード
画質モード	➪	NORMAL

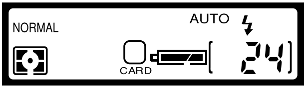
各モードの設定については、☞P.56「基本的な使い方」を参照してください。



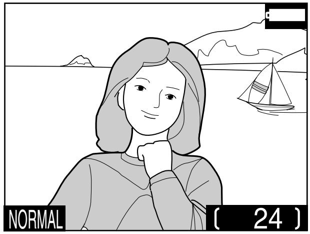
1 セレクトダイヤルをA-RECにセットする。



…カメラの電源がオンになり、上部表示パネルが点灯します。カメラは約1～2秒間撮影準備動作を行い、完了すると液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。



上部表示パネル

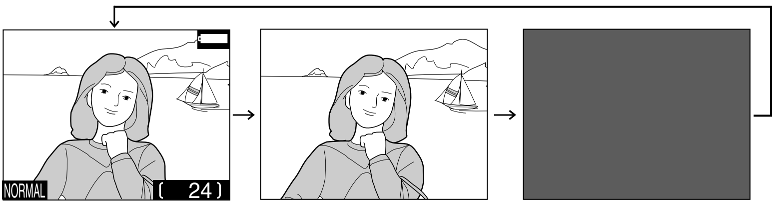


液晶モニタ
（撮影モニタ画面）

モニタボタンの使い方

液晶モニタ下のモニタボタンを押すと、液晶モニタの点灯状態を変更します。
…モニタボタンを押すごとに液晶モニタは、全情報付き点灯→最小情報付き点灯→消灯→全情報付き点灯→…　と切り換わります。

撮影モード（A-REC、M-REC）時



全情報付き点灯　　最小情報付き点灯　　消　灯

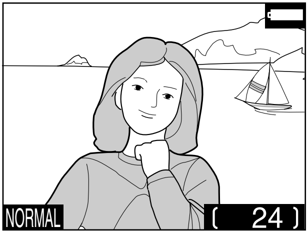


再生モード（PLAY）時

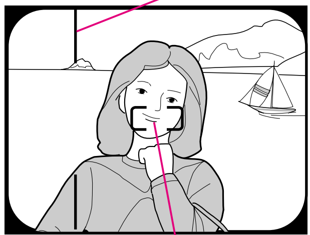
…最小情報付き点灯時には、撮影モードの撮影画像記録時と、再生モードの表示画像のコマ送り時にWAITマークが表示されます。

簡単な撮影（つづき）

2 構図を決める。



液晶モニタ



ファインダー

…写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。

…ファインダーを見ながら構図を決めるときは、ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを重ねて構図を決めます。

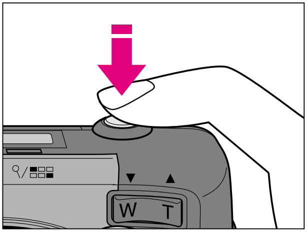
…ズームボタンを押すとズーミングが行われ、被写体の写る大きさや、写る範囲の広さを変えることができます。ズームボタンのW側を押すと広角側に、T側を押すと望遠側にズーミングします。また、最も望遠側になっているときにさらに2秒以上T側を押し続けると、電子ズームが働き、さらに望遠効果のある撮影ができます。

…セレクトダイヤルをOFFにセットして電源をオフにしたり、オートパワーオフ機能が作動開始した場合には電子ズーム機能が解除されます。

電子ズームについては ☞ P.86

…ファインダーを使用して撮影する際は、被写体距離が約80cmより近いとファインダー視野と実際に記録される範囲のズレが生じます。近距離補正マークはおおむね被写体距離50cmに対応する範囲を示しています。ズレを最小とするためには、液晶モニタの併用をおすすめします。

3 シャッターボタンを半押しする。

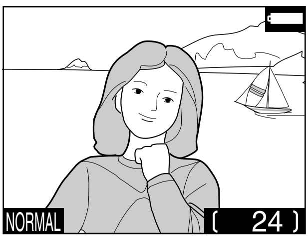


…液晶モニタ点灯時はコンティニュアスAFモードとなり、常時オートフォーカスが行われます。ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、液晶モニタでピントが合っていることを確認してください。

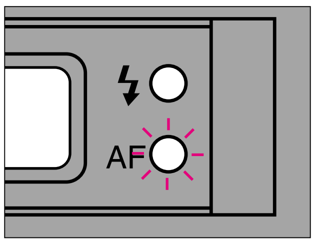
…液晶モニタ消灯時はシングルAFモードとなり、シャッターボタンの半押し時にオートフォーカスによるピント合わせが行われます。ピントが合うと、ファインダー横の緑色LEDが点灯します。ピントが合っていないと、ファインダー横の緑色LEDが高速点滅してシャッターはきれません。ファインダーを使った撮影時により正確なピント合わせをするためには、被写体をオートフォーカスフレームから外さないことが効果的です。

…液晶モニタの点灯・消灯にかかわらず、シャッターボタンの半押しでピントを固定して構図を変えるフォーカスロック撮影が行えます。

- シャッターボタン半押し後のフレーミングの変更によるピンボケに注意してください。
- オートパワーオフ時はAF動作は停止します。



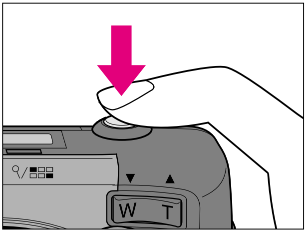
液晶モニタ

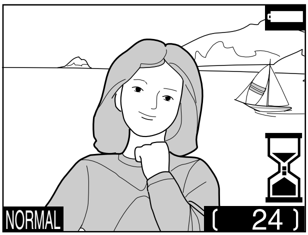


緑色LED（点灯）

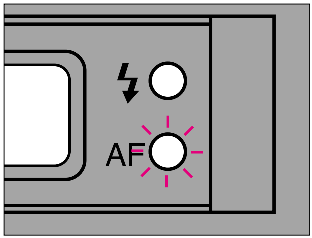
簡単な撮影（つづき）

4 ピントが合っていることを確認し、ゆっくりとシャッターボタンを押す。





液晶モニタ



緑色LED（点滅）

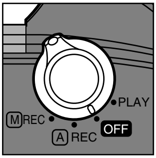
…シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれ、撮影が実行されます。被写体が暗い場合にはスピードライトが自動的に発光します。

…撮影が完了すると、ファインダー横の緑色LEDが点滅を開始し、同時に液晶モニタには撮影画像の静止画が画像記録中を示す （WAITマーク）とともに表示されます。

…緑色LEDの点滅と液晶モニタの撮影画像表示が終わると、次の撮影が行えます。

●緑色LEDの点滅中は、コンパクトフラッシュカードへの書き込みを行っています。このときカードを抜いたり、電池や専用ACアダプタを抜かないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影済みの画像がこわれる場合があります。

5 セレクトダイヤルをOFFにセットする。

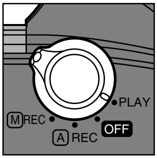


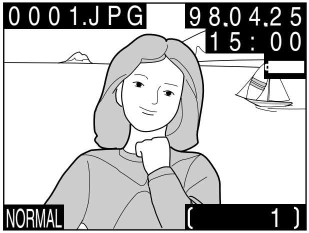
…液晶モニタ、上部表示パネルの表示が消灯し、電源がオフになります。
…電源をオフにしても、撮影した画像はコンパクトフラッシュカードに保存されます。

簡単な再生（1コマ再生モード）

撮影した画像をすぐに液晶モニタで再生して見ることができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。





…カメラの電源がオンになり、カメラは1コマ再生モードになります。液晶モニタに （WAITマーク）が表示され、1コマ再生画面が表示されます。1コマ再生画面には最後に記録されたコマの画像と、画像ファイル名、撮影日付表示、撮影時刻表示、撮影画質モード表示、表示画像コマ番号表示、およびバッテリーチェック表示が表示されます。

…ズームボタンのW（▼）ボタンを押すと1コマ前の画像が表示され、▼ボタンを押すごとに撮影された逆の順序で画像を表示していきます。T（▲）ボタンを押すと1コマ後の画像が表示され、▲ボタンを押すごとに撮影された順序で画像が表示されます。

…1コマ再生画面の表示を切り換えている途中にズームボタンを押すと、切り換え中の画像の表示は中断され、次の画像の表示がはじまります。

…最後に撮影された画像が表示されているときに▲（1コマ後）ボタンを押すと先頭画像を表示します。先頭画像の表示時に▼（1コマ前）ボタンを押すと最終画像を表示します。

…撮影をした画像がない場合は、液晶モニタに「撮影画像がありません」と表示されます。

基本的な使い方

撮影時にA-REC（フルオートモード）、M-REC（カスタムモード）時に共通して設定できるAF、画質、スピードライトの各モードや、再生時の画像操作などの基本的な機能を説明しています。

操作ボタンの機能について

COOLPIX 910本体の上面にある3つの操作ボタンは、撮影モード時と再生時には下記のように機能が異なります。また、液晶モニタの下にあるモニタボタンはモニタの表示の切り換えを、メニューボタンはメニュー画面への切り換えを行います。

撮影モード時（A-RECモード、M-RECモード）

QUALITY

画質モードボタン
画質モードの選択を行う ☞ P.58

AFモードボタン
AFモードの選択を行う ☞ P.60

スピードライトモードボタン
スピードライトモードの選択を行う ☞ P.62

MONITOR

モニタボタン
液晶モニタの全情報付き点灯、最小情報付き点灯、消灯を切り換える ☞ P.49

MENU

メニューボタン
M-RECモード時に撮影メニュー画面を表示させる ☞ P.73

再生モード時（PLAYモード）

削除ボタン
画像の削除を行う ☞ P.64

サムネイルボタン
サムネイルモード／1コマ再生モードの切り換えを行う ☞ P.68

拡大表示／複数選択ボタン
画像の拡大表示の切り換えを行う ☞ P.70
画像の複数選択を行う ☞ P.70

MONITOR

モニタボタン
液晶モニタの全情報付き点灯、最小情報付き点灯、消灯を切り換える ☞ P.49

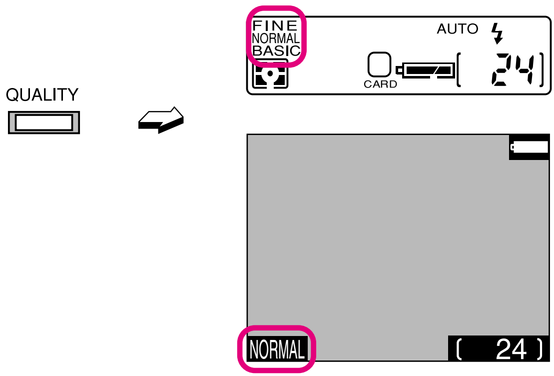
MENU

メニューボタン
再生モード時に撮影メニュー画面を表示させる ☞ P.94

画質モードの選択 撮影モード（A-REC／M-REC）

画質モードは、3種類のモードから選択できます。画像の使用目的などに応じて選択してください。

画質モードの選択方法



…撮影モード時に、画質モードボタンを押し、希望する下記の画質モード表示を上部表示パネル・液晶モニタに表示させます。

FINE	FINEモード
NORMAL	NORMALモード
BASIC	BASICモード

…電源投入時に設定される画質モードは、前回電源オフ時に設定されていたモードとなります。
…画質モードボタンは、再生モード時には画像の削除ボタンとして機能します。☞P.64

FINE ：FINEモード

圧縮率を約1/4とする圧縮モードで、画像ファイルサイズがオリジナルの約1/4以下となるように設定されています。

NORMAL ：NORMALモード

圧縮率を約1/8とする圧縮モードで、画像ファイルサイズがオリジナルの約1/8以下となるように設定されています。

BASIC ：BASICモード

圧縮率を約1/16とする圧縮モードで、画像ファイルサイズがオリジナルの約1/16以下となるように設定されています。

…8MBコンパクトフラッシュカード使用時の撮影可能枚数の目安は以下の通りです。ただし、圧縮後のファイルサイズによって、撮影可能枚数が異なる場合があります。

撮影可能枚数のチェック☞P.38

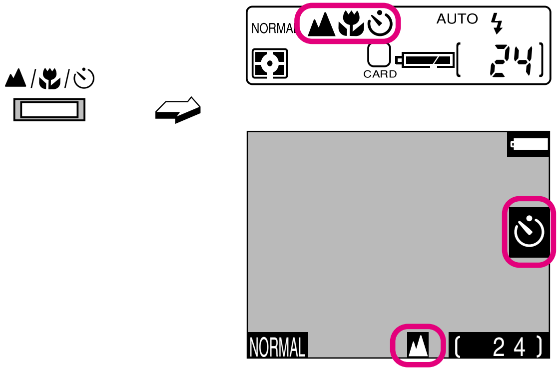
画質モード	撮影可能枚数	
	フルサイズ画像（1280×960pixel）	VGAモード（640×480pixel）
FINE	12枚	48枚
NORMAL	24枚	96枚
BASIC	48枚	192枚

…VGA撮影モード時は、上部表示パネルの画像表示は点滅表示します。

AFモードの選択　撮影モード（A-REC／M-REC）

AFモードは、３種類のオートフォーカスモードとセルフタイマーのオン・オフが選択できます。

AFモードの選択方法



…撮影モード時にAFモードボタンを押し、希望する下記のAFモード表示・セルフタイマー表示のアイコンを上部表示パネル・液晶モニタに表示させます。（通常AFモードは何も表示しません）

通常AFモード
遠景モード
マクロモード
セルフタイマー撮影

…電源投入時に設定されるAFモードは、通常AFとなります。
…セルフタイマーをオンにすると、通常AFモードになります。
…AFモードボタンは、再生モード時にはサムネイルボタンとして機能します。
☞ P.68

：通常AFモード

通常のAF動作を行うモードで、スナップ写真やポートレートなどをはじめとするほとんどの撮影に幅広く対応します。ピントの合う距離範囲は50cm〜無限遠です。
このモードでは、液晶モニタ点灯時はカメラの電源がオンになるとAFを開始し、以後シャッターボタンの操作に関係なくAFを繰り返し、シャッターの半押しでフォーカスロックを行います。液晶モニタ消灯時には、シャッターボタンが半押しされている間のみ測距を行い、測距完了後にフォーカスロックとなります。

：遠景モード

風景や建物など、遠くにある被写体にピントを合わせた撮影が行えます。
撮影レンズは焦点検出動作は行わず、遠景撮影に適した位置に自動的に駆動され、固定されます。このモードでは、スピードライトは自動的に発光禁止モードになります。

：マクロモード

ごく近くのものを撮影するときにセットします。焦点調整が可能な距離範囲は20〜50cm（ズームレンズがワイド端でレンズ前約8cmまで合焦可能）です。
このモードでは、液晶モニタ点灯時はカメラの電源がオンになるとAFを開始し、以後シャッターボタンの操作に関係なくAFを繰り返し、シャッターの半押しでフォーカスロックを行います。消灯時には、シャッターボタンが半押しされている間のみ測距を行い、測距完了後にフォーカスロックとなります。
ズームレンズをもっともワイドの状態にするとレンズ前約8cmまで合焦可能ですが、緑色LEDが点滅したままの場合があります。必ず液晶モニタでピントを確認してください。

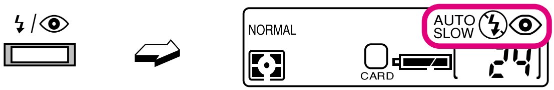
：セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影を行います。撮影者ご自身が被写体として写りたいときや、三脚使用時等に手ブレを防止したいときなどに使用してください。
セルフタイマー時間は10秒で、セルフタイマー表示ランプが計時開始から9秒間は点滅し、露光前1秒間は点灯します。
セルフタイマー計時開始後のキャンセルはセレクトダイヤルを他のモードにセットすることによって行います。

スピードライトモードの選択 撮影モード（A-REC／M-REC）

スピードライトモードは、5種類のモードから選択できます。

スピードライトモードの選択方法



…撮影モード時にスピードライトモードボタンを押し、希望する下記のスピードライトモード表示を上部表示パネルに表示させます。

- AUTO ⚡ 自動発光モード（低輝度時）
- ⊘ 発光禁止モード
- AUTO ⚡ 👁 赤目軽減自動発光モード
- ⚡ 強制発光モード
- SLOW ⚡ スローシンクロモード

…電源投入時に設定されるスピードライトモードは、前回の撮影時の設定が保持されます。

…シャッターボタンを半押しした状態でスピードライトが未充電の場合、赤色LEDが点滅表示し、撮影ができないことを警告します。
また、次の状態ではシャッターボタンを半押ししていなくても赤色LEDが点滅表示します。

- 撮影した画像をコンパクトフラッシュカードに記録した後にスピードライトを充電している間
- セレクトダイヤルをOFFからRECモードにした際にスピードライトを充電している間

…マクロモードでは液晶モニタによる試し撮りをして、撮影された画像を確認することをおすすめします。

…スピードライトモードボタンは、再生モード時には拡大表示／複数画面選択ボタンとして機能します。☞ P.70

…増灯ターミナルに接続された外部スピードライトも内蔵スピードライト同様に発光します。

AUTO ：**自動発光モード**

被写体が暗いときに自動的に発光します。

：**発光禁止モード**

スピードライトの発光を禁止するモードです。三脚等を使用して夕景や夜景などの雰囲気を生かした撮影を行いたいときなどに使用してください。
…AFモードで遠景モードを選択したときには、スピードライトモードは自動的にこの発光禁止モードにセットされます。
AFモード☞P.60

AUTO ：**赤目軽減自動発光モード**

スピードライト撮影で人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。
発光直前に赤目軽減ランプ照射を行い、その後自動発光を行います。
撮影の際に、被写体となる方に赤目軽減ランプの光をしっかり見ていただくと、赤目軽減の効果が上がります。

：**強制発光モード**

被写体の明るさとは無関係にスピードライトを発光させるモードです。

SLOW ：**スローシンクロモード**

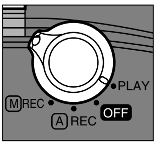
夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、近くの人物も背景もきれいに表現できます。

削除モード 再生（PLAY）モード

1コマ再生モードまたはサムネイルモード時に、削除ボタンを押すと、画像を確認しながら1画像ずつ削除するモードになります。
…再生メニューの「削除」メニューを選択すると、全画面または複数選択画面の削除が行えます。
削除メニュー選択による削除モードについては☞P.99

1コマ再生モードでの削除

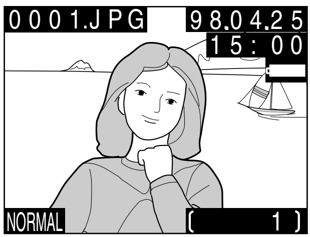
1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…カメラの電源がオンになり、再生モードになります。液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

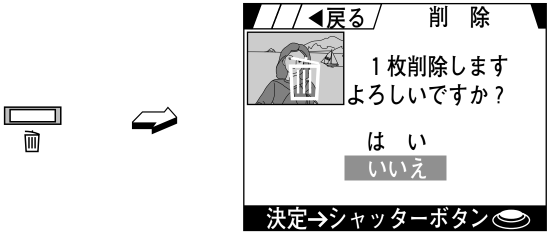
2 削除する画像を表示させる。





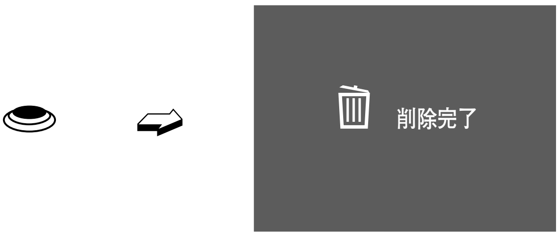
…ズームボタンを押して削除する画像を液晶モニタに表示させます。
1コマ再生モードについては☞P.54

3 削除ボタンを押す。



…削除確認画面が表示されます。

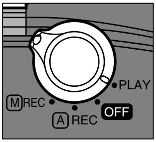
4 「はい」を選択し、シャッターボタンを押す。



…ズームボタンを押して「はい」を選択し、シャッターボタンを押すと画像の削除が実行されます。削除完了画面が表示された後、削除が完了し、次の画像が1コマ再生されます。
…削除を行わない場合は、メニューボタンを押すか、「いいえ」を選択してシャッターボタンを押すと選択画像の1コマ再生画面に戻ります。

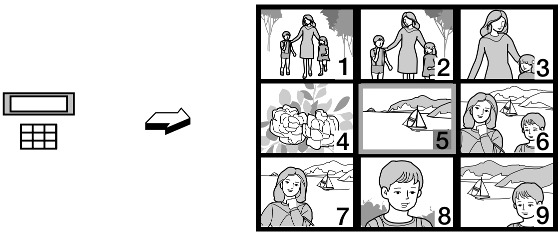
サムネイルモードでの削除

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



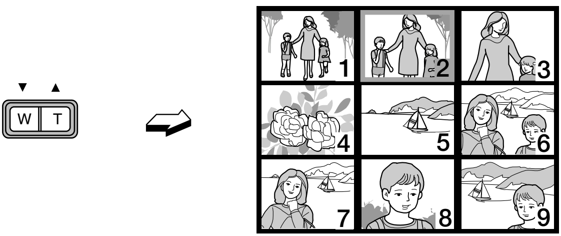
…カメラの電源がオンになり、再生モードになります。液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

2 サムネイルモードにする。



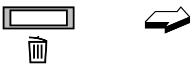
…再生メニュー画面から「サムネイル」メニューを選択してもサムネイルモードになります。
サムネイルモードについては☞P.68、P.97

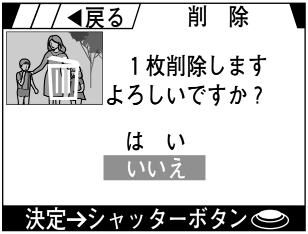
3 削除する画像を選択する。



…ズームボタンを押し、削除する画像を選択します。選択している画像は黄色い枠型のカーソルで示されます。
サムネイルモードでの画像の選択については☞ P.69

4 削除ボタンを押す。





…削除確認画面が表示されます。

5 「はい」を選択し、シャッターボタンを押す。



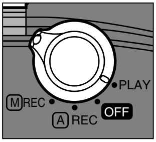


…ズームボタンを押して「はい」を選択し、シャッターボタンを押すと画像の削除が実行されます。削除完了画面が表示された後、削除が完了し、サムネイル画面に戻ります。
…削除を行わない場合は、メニューボタンを押すか、「いいえ」を選択してシャッターボタンを押すとサムネイルモードに戻ります。
…もう一度サムネイルボタンを押すと、1コマ表示画面に戻ります。

サムネイルモード 再生（PLAY）モード

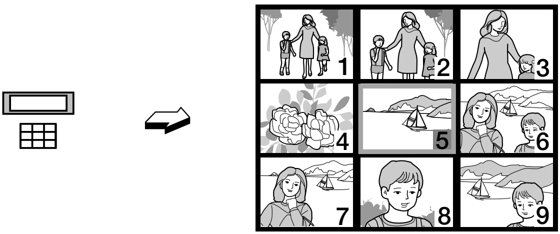
液晶モニタに縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示します。サムネイル画像をコマ送り・コマ戻ししながら選択でき、選択した画像を1コマ再生させたり、削除することができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…カメラの電源がオンになり、再生モードになります。液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

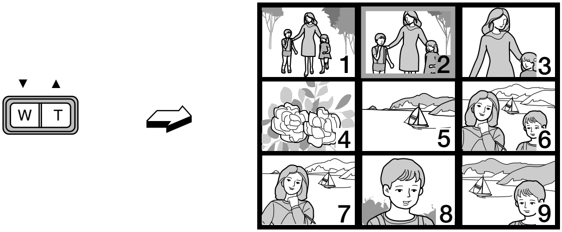
2 サムネイルボタンを押す。



…1コマ再生されていた画像を中心にして9コマの画像が縮小表示されます。撮影画像が9コマより少ない場合は左上から詰めて表示されます。
…1コマ再生されていた画像は、黄色の枠型のカーソルで表示されます。
…サムネイルモードへは、再生メニューの「サムネイル」メニューからも入れます。
再生メニューのサムネイルメニューについては ☞ P.97

サムネイル画像を選択するには

ズームボタンでカーソルを移動させる。

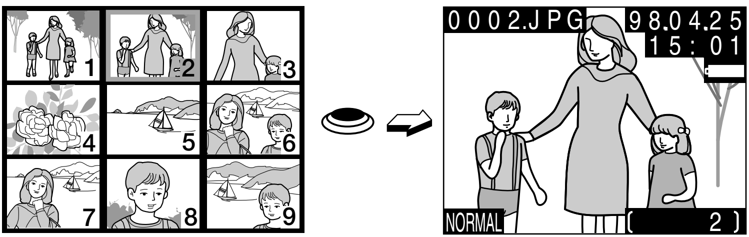


…ズームボタンを押すと、選択画面を示すカーソルが移動します。カーソルを画面の端（左上または右下）まで移動させ、さらに同方向に移動させると、6画像分のスクロールを行います。

…先頭コマまたは最終コマの表示状態でさらにスクロールさせると、先頭コマの場合には最終コマから9画面、最終コマの場合には先頭コマから9画面を表示します。

サムネイル画像を1コマ再生するには

サムネイル画像を選択し、シャッターボタンを押す。



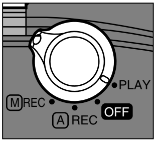
…1コマ再生したい画像にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、その画像を1コマ再生します。

…同様に、サムネイル画面から削除したいコマにカーソルを合わせて削除ボタンを押すことにより、その画像の削除確認の画面に移ることができます。画像の削除については ☞ P.66

拡大表示モード／複数選択ボタン 再生（PLAY）モード

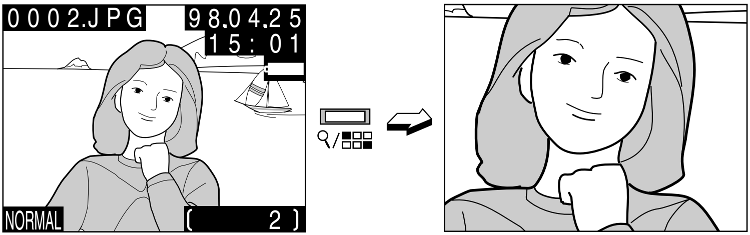
拡大表示モード

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…カメラの電源がオンになり、再生モードになります。液晶モニタに最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

2 拡大表示ボタンを押す。



…1コマ再生画面で拡大表示ボタンを押すと、1コマ再生されていた画像の中央部を2倍に拡大して表示します。
…拡大表示ボタンをもう一度押すと拡大表示は解除され、選択画像の1コマ再生画面になります。

複数選択ボタン機能について

拡大表示ボタンは、以下のモードでの画像選択メニュー表示時には画像の複数選択ボタンとして機能します（拡大表示機能は働きません）。
詳細については各項目を参照してください。

・再生メニューの削除メニュー選択による削除モード ☞ P.99
・プロテクト設定 ☞ P.102
・非表示設定 ☞ P.104

増灯ターミナル 撮影モード（A-REC／M-REC）

増灯ターミナルについて

別売アクセサリの増灯ブラケットSK-E900と使用可能なスピードライトを組み合わせて使用することで、スピードライトの増灯撮影が可能になります。

・使用可能な別売りスピードライト
　SB-28、SB-26、SB-25、SB-24、SB-22、SB-22s
・その他の当社製スピードライトをご使用の場合は、当社サポート部門までお問い合わせください。
・スピードライトのモードは「TTL」で使用してください。
・スピードライトの電源は「ON」の位置で使用してください。
「STBY」では使用しないでください。
・COOLPIX 910のマクロモードでの撮影時は、液晶モニタによる試し撮りをして撮影された画像を確認することをおすすめします。

増灯ブラケットSK-E900、別売スピードライトの基本的な性能や使用方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。

●他社製のスピードライトについて
他社製スピードライト（カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリシュー部の小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

応用的な使い方

多彩なメニュー機能を使ったいろいろな撮影・再生方法について説明しています。

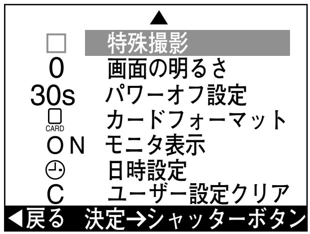
撮影メニューの選択

COOLPIX 910には、撮影機能に関して13のメニュー項目があり、カメラの動作をより詳細に設定することができます。各撮影メニューは、撮影モードがM-RECモードのときに選択・設定できます。

撮影メニュー項目

M-RECモード時にメニューボタンを押すと、撮影メニュー設定モードになり、液晶モニタにメニュー設定画面が表示されます。メニュー設定画面は、13のメニュー項目を2画面に分けて表示します。設定を行うメニュー項目にカーソルを合わせて選択すると、各メニューごとに機能を設定・選択する画面に移行します。



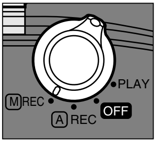


各メニューの詳細は、この章の以下のページで説明します。

±0	露出補正	P.76
	測光方式	P.77
S	連写	P.78
A	ホワイトバランス	P.80
0	階調補正	P.81
J	言語（LANG）	P.82
□	特殊撮影	P.83
0	画面の明るさ	P.88
30s	パワーオフ設定	P.89
CARD	カードフォーマット	P.90
ON	モニタ表示	P.91
	日時設定	P.91
C	ユーザー設定クリア	P.92

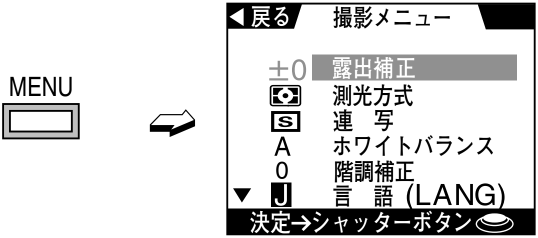
撮影メニュー項目の選択方法

1 セレクトダイヤルをM-RECにセットする。



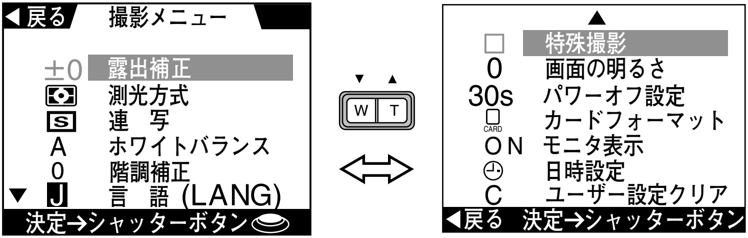
…カメラの電源がオンになり、M-RECモードになります。カメラは約1～2秒間撮影準備動作を行い、完了すると液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。

2 撮影メニュー設定モードにする。



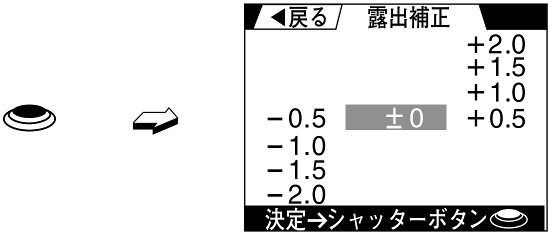
…撮影メニュー設定モードの1画面目が表示されます。

3 設定を行う撮影メニューにカーソルを合わせる。



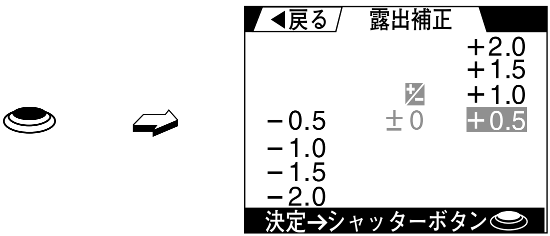
…ズームボタンを押すとカーソルが移動します。2つの画面はカーソルの移動により切り換わります。

4 撮影メニューを選択する。



…選択した撮影メニューの機能を選択・決定するメニュー設定画面が表示されます。

5 メニュー機能を選択・決定する。



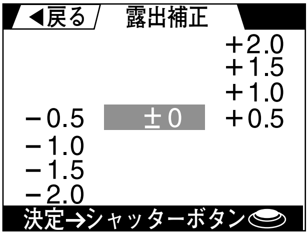
…ズームボタンで設定する撮影メニューの機能にカーソルを移動させて選択し、シャッターボタンを押して決定します。

…特殊撮影の設定方法についてはP.83を参照してください。

撮影メニューの設定

露出補正

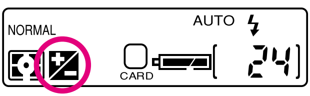
撮影目的や撮影条件に合わせて＋2段から－2段まで、0.5段ごとに露出補正ができます。

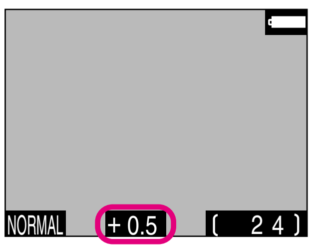


［設定内容］

＋2.0	：	＋2段の露出補正を行います
＋1.5	：	＋1.5段の露出補正を行います
＋1.0	：	＋1段の露出補正を行います
＋0.5	：	＋0.5段の露出補正を行います
±0	：	露出補正を行いません
－0.5	：	－0.5段の露出補正を行います
－1.0	：	－1段の露出補正を行います
－1.5	：	－1.5段の露出補正を行います
－2.0	：	－2段の露出補正を行います

…±0以外が選択された場合、上部表示パネルに露出補正マークが表示され、液晶モニタの撮影情報画面に露出補正値が表示されます。





測光方式

測光方式をマルチ測光、スポット測光、中央部重点測光から選択します。



［設定内容］

マルチ　　　：マルチ測光を選択します
スポット　　：スポット測光を選択します
中央部重点　：中央部重点測光を選択します

…各測光方式の特徴は以下の通りです。

・マルチ測光：
撮影画面を分割し、それぞれの部分を独立して測光したデータをもとに最適な露出値を決定します。様々なシーンで正確な露出が得られます。通常の撮影においては、マルチ測光による撮影をおすすめします。

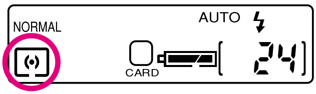
・スポット測光：
撮影画面中央部のみを部分測光して露出値を決定します。逆光やコントラストの差の激しいときなど、中央部のみの露出を基準に撮影したいときに適しています。（シャッターボタン半押しによるAEロック機能があります）。

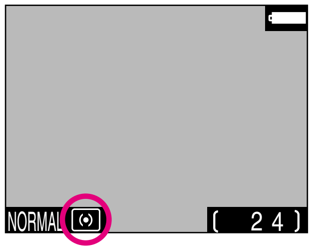
・中央部重点測光：
撮影画面中央部を重点的に測光して、露出値を決定します。作画意図に応じて中央部の露出値を基準に撮影したい場合に適しています。

撮影メニューの設定（つづき）

測光方式（つづき）

…各測光方式を表す測光モード表示が上部表示パネルと液晶モニタの撮影情報画面に表示されます（マルチ測光アイコンは液晶モニタに表示されません）。





連　写

撮影間隔を単写、連写、高速連写から選択します。



［設定内容］

- 単写　：1コマ撮影を選択します
- 連写　：連写を選択します
- 高速連写　：高速連写を選択します

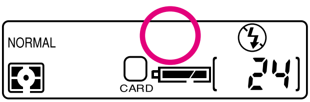
…連写時は以下のように動作します。

・シャッターボタンを全押しし続けることにより、撮影動作を繰り返します。

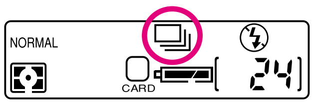
・AF、AE、オートホワイトバランスの各条件は固定され、スピードライトは発光禁止となります。
・すべての画質モードで撮影が可能です。
・フル画像サイズ（1280×960pixel）で記録を行います。速度はコンパクトフラッシュカードの書き込みスピードに依存し、対応枚数は、撮影可能枚数となります。
・連写モードでVGA（640×480pixel）撮影が選択された場合には、自動的に高速連写モードに変更されます。

…高速連写時は以下のように動作します。
・VGA（640×480pixel）ファイルサイズで連写を行います。
・画質モードはNORMALのみとなります。
・液晶モニタの撮影情報画面にはVGA、NORMALの状態表示をし、上部表示パネルにはNORMAL表示を点滅表示します。
・高速連写設定前の画質モードとVGAモードの状態を記憶しておき、高速連写解除後には設定前の状態に戻します。
・液晶モニタには撮影画面が順を追って表示されます。
・画像サイズはVGAサイズ（640×480pixel）で記録され、速度は約2コマ／秒、対応枚数は最大10枚となります。

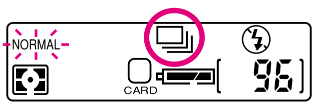
…連写、高速連写選択時は上部表示パネルに連写モード表示が表示されます。



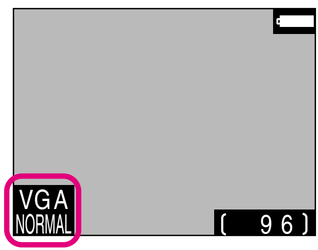
単写時



連写時



高速連写時



高速連写時

撮影メニューの設定（つづき）

ホワイトバランス

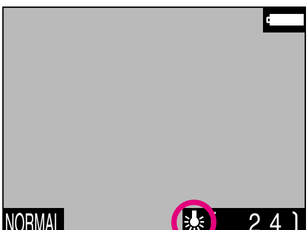
撮影状況に応じて、適応するホワイトバランスにセットします。
ほとんどの場合はオートで撮影できますが、特定の照明光に固定したい場合には設定してください。



［設定内容］

A　オート　　　　：ホワイトバランスを自動で調整します
太陽光　　　　：晴れの日の撮影に適しています
電球　　　　　：白熱電球下での撮影に適しています
蛍光灯　　　　：蛍光灯下での撮影に適しています
曇天　　　　　：曇りの日の撮影に適しています
スピードライト：スピードライト撮影に適しています

…オート以外の設定を選択した場合、設定内容に対応するホワイトバランス表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

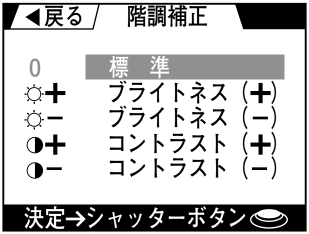


ホワイトバランスについて

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行ってはじめて、白い被写体は白に見えます。この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。

階調補正

画像のブライトネス（明るさ）とコントラストを変化させます。



［設定内容］

0	：標準の階調にセットします
☼＋	：ブライトネスを上げます
☼－	：ブライトネスを下げます
◑＋	：コントラストを上げます
◑－	：コントラストを下げます

…ブライトネスは、モニタやプリンタなどの出力機器のγ（ガンマ）特性に応じて、COOLPIX 910の明るさを調整する場合に用います。露出補正で画像の明るさを調節するとハイライトやシャドーの階調が失われる場合があるため、出力機器とのマッチングさせるためにはブライトネスを用いた方が良い結果がでます。

…ブライトネス（＋）を選択すると画像はハイキーになり、（－）を選択するとローキーになります。画像の明るさの好み、およびモニタやプリンタの特性に合わせてお使いください。

…コントラストは、モニタやプリンタなどの出力機器のコントラスト（硬調、軟調）や、撮影シーンのコントラスト、あるいはユーザーの好みに応じて、COOLPIX 910のコントラストを調整するために用います。

…コントラスト（＋）を選択すると明暗差や輪郭がはっきりとした画像になります。画像にメリハリをつけたい場合にお使いください。

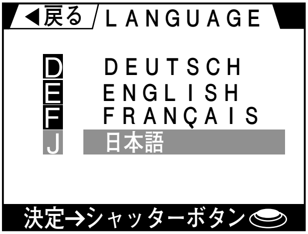
…コントラスト（－）を選択するとソフトな感じの画像になります。輝度差の大きい被写体を撮影する場合にお使いください。

●階調補正は撮影時の液晶モニタ画面とビデオ出力には反映されません。

撮影メニューの設定（つづき）

言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。



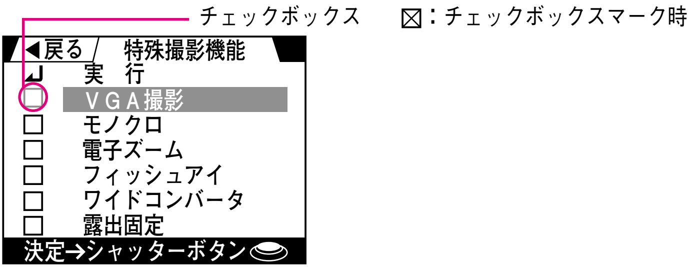
［設定内容］

D DEUTSCH ：ドイツ語表示にします
E ENGLISH ：英語表示にします
F FRANÇAIS ：フランス語表示にします
J 日本語 ：日本語表示にします

…言語が選択され、メニューの選択画面に戻った時点で表示する言語を変更します。

特殊撮影

6種類の特殊撮影機能の設定を可能とします。



[設定内容]

VGA撮影	：VGA撮影（640×480pixel）モードに変更します
モノクロ	：モノクロ撮影モードに変更します
電子ズーム	：電子ズームモードに変更します
フィッシュアイ	：フィッシュアイコンバータに適した設定に変更します
ワイドコンバータ	：ワイドコンバータに適した設定に変更します
露出固定	：設定後の最初の撮影時の露出に固定します

…各設定の設定方法は以下の通りです。

1　特殊撮影機能メニューを表示します。

2　設定したい機能にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押します。
…チェックボックスにチェックがマークされます。マークはもう一度シャッターボタンを押すと解除されます。

3　設定したい機能にチェックし終わったら、［実行］にカーソルを合わせてシャッターボタンを押します。

…各設定の解除方法は、以下の通りです。

・特殊撮影メニューにカーソルを合わせた状態でシャッターボタンを押すと、選択状態が反転されます。

・撮影メニューの「ユーザー設定クリア」が実行されたときは全項目がクリアされます。

撮影メニューの設定（つづき）

特殊撮影（つづき）

各設定の内容は以下の通りです。

①VGA撮影モード：

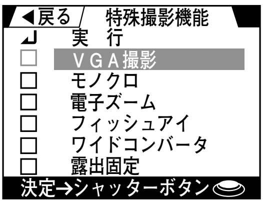
・撮影画像の画角はそのままでVGA画像（640×480pixel）として記録します。撮影の画角は変わらず、ファイルサイズのみが変わります。

・液晶モニタの撮影情報画面にVGA撮影モード表示を表示し、上部表示パネルの画質表示を点滅表示します。

・画質設定（FINE、NORMAL、BASIC）が可能です。

・「連写」設定中にVGA撮影が選択された場合は自動的に「高速連写」モードになります。

・VGA撮影モード設定中に「連写」を設定すると、VGA撮影モードは解除されます。

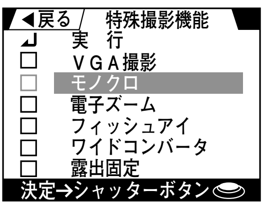


②モノクロ撮影モード：

・撮影された画像はモノクロデータで記録し、液晶モニタの撮影モニタ画面もモノクロ表示となります。

・画像ファイルのデータ容量は通常のカラーモードと同様となります。

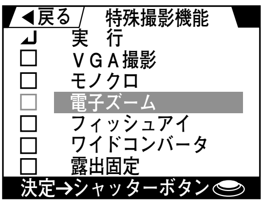
・モノクロ撮影モードでは、カラーの場合と比べて高い解像度が得られます。



③電子ズームモード：

・電子ズームモードに移り、撮影倍率が光学ズームの2倍の倍率になります。
・このメニュー設定による電子ズームは、光学ズームの連動範囲全域にわたって適用されます。
・電子ズームの設定時は液晶モニタの撮影情報画面上のズーム表示は点滅し、緑色LEDもゆっくりと点滅表示します。
・液晶モニタがオフの場合には電子ズームモードになりません。
・液晶モニタがオフの場合でもビデオ出力端子からテレビへ接続されていれば電子ズームモードになります。
・電子ズームモード時には撮影画面中央部を2倍に拡大するため、光学ファインダーで見える範囲と撮影範囲が異なりますので、液晶モニタで確認してください。

ズームボタン操作による電子ズームについて☞P.50



撮影メニューの設定（つづき）

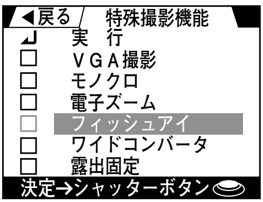
特殊撮影（つづき）

④フィッシュアイモード：

・以下の各条件を固定します：

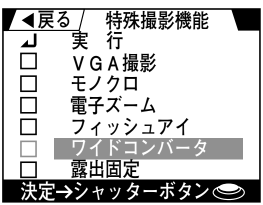
焦点距離	→ワイド端	AF	→AF禁止・無限遠に固定
スピードライト	→発光禁止	測光モード	→中央部重点測光

・このモード設定中の撮影状態では、ズームボタン、AFモードボタン、スピードライトモードボタンはロックされます。
・液晶モニタの撮影情報画面にコンバータ表示を表示します。
・詳細についてはフィッシュアイコンバータFC-E8の使用説明書を参照してください。



⑤ワイドコンバータモード：

・焦点距離はワイド端に固定され、スピードライトは発光禁止となります。
・このモード設定中の撮影状態では、スピードライトモードボタンはロックされます。
・液晶モニタの撮影情報画面にコンバータ表示を表示します。
・詳細については、ワイドコンバータWC-E24の使用説明書を参照してください。



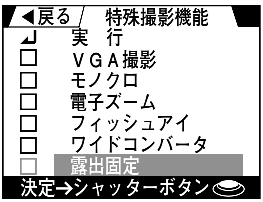
⑥露出固定モード：

…このモードを設定すると、撮影条件は設定後の最初の撮影の露出に固定されます。コンピュータに画像を取り込んで合成する場合などに便利です。

・このモード設定中の撮影状態では、ホワイトバランス、絞り値、シャッタースピードが固定されます。

・液晶モニタの撮影情報画面にAE-L（AEロック）表示とWB-L（ホワイトバランスロック）表示が表示されます。

・露出固定モードでは、スピードライトは発光禁止モードになります。



重複選択可能な機能の組み合わせ

…特殊撮影機能の各機能は、次の組み合わせの場合には同時に設定できます。

VGA撮影＋電子ズーム
VGA撮影＋フィッシュアイコンバータ
VGA撮影＋ワイドコンバータ
VGA撮影＋露出固定
VGA撮影＋電子ズーム＋露出固定
VGA撮影＋フィッシュアイコンバータ＋露出固定
VGA撮影＋ワイドコンバータ＋露出固定

モノクロ＋フィッシュアイコンバータ
モノクロ＋ワイドコンバータ
モノクロ＋フィッシュアイコンバータ＋露出固定
モノクロ＋ワイドコンバータ＋露出固定

電子ズーム＋露出固定
フィッシュアイコンバータ＋露出固定
ワイドコンバータ＋露出固定

撮影メニューの設定（つづき）

画面の明るさ

液晶モニタのバックライトの明るさを3段階の中から選択します。



［設定内容］

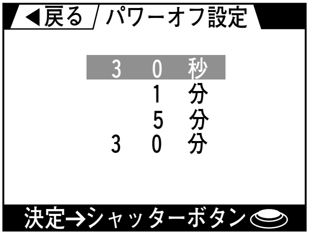
−	：画面の明るさを暗くします
○	：画面の明るさを中間の明るさにします
＋	：画面の明るさを明るくします

…ズームボタンで上のいずれかを選択すると、カーソルの移動と連動し、リアルタイムで画面の明るさが変わります。

…設定された画面の明るさは撮影モード、再生モードの両モードで適用されます。

パワーオフ設定（撮影時）

撮影モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。
オートパワーオフ機能については ☞P.42



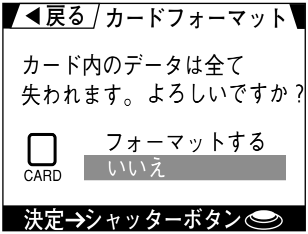
［設定内容］

30秒　：オートパワーオフまで30秒に設定します
1分　：オートパワーオフまで1分に設定します
5分　：オートパワーオフまで5分に設定します
30分　：オートパワーオフまで30分に設定します

…ズームボタンでカーソルを移動させ上のいずれかを選択し、シャッターボタンを押すとオートパワーオフ開始時間がセットされます。
…ACアダプタ接続中は、オートパワーオフ開始時間は30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが装着されている場合にはビデオ信号は継続して出力され、液晶モニタは30分後にオフになります。

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。



［設定内容］

フォーマットする	：フォーマットを実行します
いいえ	：フォーマットをキャンセルします

…「フォーマットする」を選択してシャッターボタンを押すとフォーマットがはじまります。

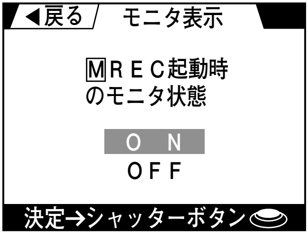
…シャッターボタンを押すとすぐにフォーマットがはじまります。取り消しはできませんので、注意してください。

…フォーマットが終了すると撮影モニタ画面に戻ります。上部表示パネルか液晶モニタの表示で撮影可能枚数を確認してください。
撮影可能枚数のチェック ☞ P.38

●コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。

モニタ表示

M-RECモードでの起動時のモニタ表示のON・OFFを設定します。



［設定内容］

ON　：M-REC起動時にモニタをオンにします
OFF　：M-REC起動時にモニタをオフにします

日時設定

内蔵時計の年月日・時刻の設定を行います。



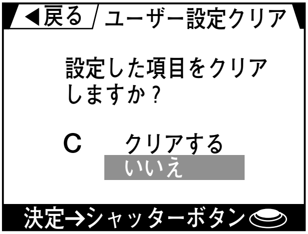
［設定内容・設定方法］

設定内容・設定方法については、☞ P.29「年月日・時刻のセット」を参照してください。

撮影メニューの設定（つづき）

ユーザー設定クリア

ユーザーが設定した撮影メニュー項目をクリアします。



［設定内容］

C　クリアする　：ユーザー設定をクリアします

いいえ　　　　：ユーザー設定をクリアしません

…各メニューのうち、所定のものは初期状態に戻り、カメラの設定は以下の状態になります。

露出補正	±0
測光方式	マルチ測光
連写	単写
ホワイトバランス	オート
階調補正	標準
言語選択	クリアされない
特殊撮影	クリアされる
画面の明るさ	0（中間の明るさ）
パワーオフ設定	30秒
カードフォーマット	ー
モニタ表示	ON
日時設定	クリアされない
ユーザー設定クリア	ー

撮影メニュー設定後の画面

撮影メニューでメニューの設定を完了すると、言語（LANG）の設定を除いて撮影モニタ画面に戻ります。

撮影メニューの設定解除

撮影メニューで設定された内容は、セレクトダイヤルをOFFにセット、撮影の実行、電池の再投入、オートパワーオフ状態の解除などを行ってもキャンセルされず、設定された状態に復帰します。メニューの設定内容の解除は、メニュー画面で初期の設定を選択することによって行ってください。

●メニューの設定内容は、カメラの内蔵電池によって記憶されます。内蔵電池の充電が不充分な場合、単3形乾電池の交換などを行うとメニューの設定が解除されますので注意してください。

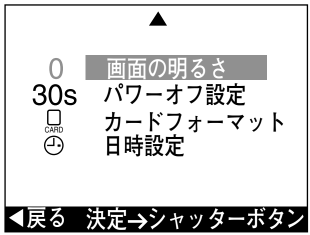
再生メニューの選択

COOLPIX 910には、再生機能に関して10のメニュー項目があり、カメラの動作をより詳細に設定することができます。各再生メニューは、再生モード時に選択・設定できます。

再生メニュー項目

再生モード時にメニューボタンを押すと、再生メニュー設定モードになり、液晶モニタに再生メニュー設定画面が表示されます。メニュー設定画面は、10のメニュー項目を2画面に分けて表示します。設定を行うメニュー項目にカーソルを合わせて選択すると、各メニューごとに機能を設定・選択する画面に移行します。



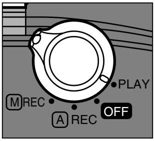


各メニューの詳細は、この章の以下のページで説明します。

	サムネイル	P.97
	削除	P.99
	スライドショー	P.101
	プロテクト設定	P.102
	非表示設定	P.104
J	言語（LANG）	P.106
0	画面の明るさ	P.106
30s	パワーオフ設定	P.107
CARD	カードフォーマット	P.108
	日時設定	P.109

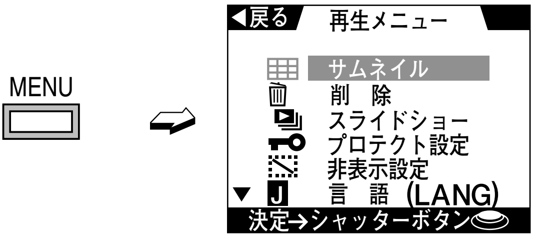
再生メニュー項目の選択方法

1 **セレクトダイヤルをPLAYにセットする。**



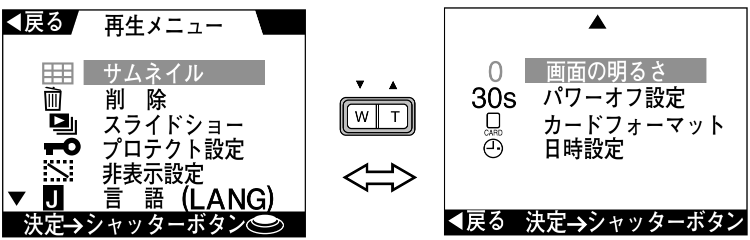
…カメラの電源がオンになり、再生モードになります。カメラは約1～2秒間再生準備動作を行い、完了すると液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。

2 **再生メニュー設定モードにする。**



…再生メニュー設定モードの1画面目が表示されます。

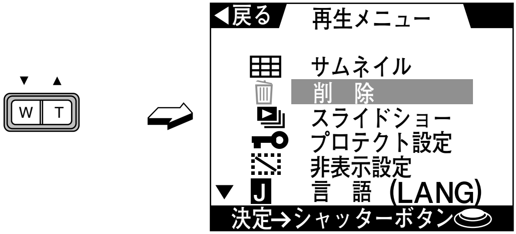
3 **設定を行う再生メニューにカーソルを合わせる。**



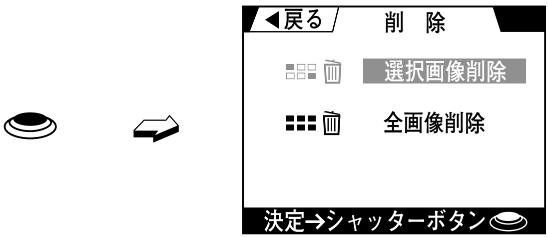
…ズームボタンを押すとカーソルが移動します。2つの画面はカーソルの移動により切り換わります。

再生メニューの選択（つづき）

4 再生メニューを選択する。



5 シャッターボタンを押して決定する。



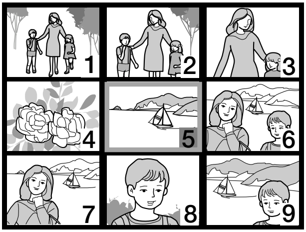
（例：「削除」を選択した場合に表示される「削除」メニュー設定画面です）

…選択した再生メニューの機能を選択・決定するメニュー設定画面が表示されます。

再生メニューの設定

サムネイルモード

液晶モニタに縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示します。サムネイル画像をコマ送り・コマ戻ししながら選択でき、選択した画像を1コマ再生させたり、削除することができます。



［操作方法］

サムネイルモードを選択するには

再生メニュー選択画面でサムネイルを選択してシャッターボタンを押す。

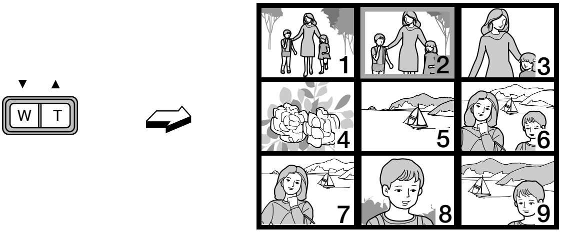
…最後に1コマ再生されていた画像を含む合計9コマまでの画像がサムネイル表示されます（撮影済み枚数が1～8枚の場合には左上に詰めて表示します）。
…サムネイルモードへは、サムネイルボタンを押すことによっても切り換えることができます。
サムネイルボタンについては☞P.68

再生メニューの設定（つづき）

サムネイルモード（つづき）

サムネイル画像を選択するには

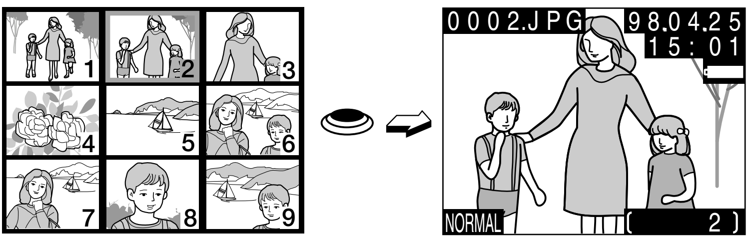
ズームボタンでカーソルを移動させる。



…ズームボタンを押すと、選択画面を示す黄色い枠型のカーソルが移動します。カーソルを画面の端（左上または右下）まで移動させ、さらに同方向に移動させると、6画像分のスクロールを行います。先頭コマまたは最終コマの表示状態でさらにスクロールさせると、先頭コマの場合には最終コマから9画面、最終コマの場合には先頭コマから9画面を表示します。

サムネイル画像を1コマ再生するには

サムネイル画像を選択し、シャッターボタンを押す。



…1コマ再生したい画像にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、その画像を1コマ再生します。

…同様に、サムネイル画面から削除したいコマにカーソルを合わせて削除ボタンを押すことにより、その画像の削除確認の画面になります。

サムネイルモードでの画像の削除については☞P.66

削除モード

画像の削除を行います。メニューから選択した削除モードでは、全画像の削除と、サムネイル画面から選択した複数の画像の削除ができます。



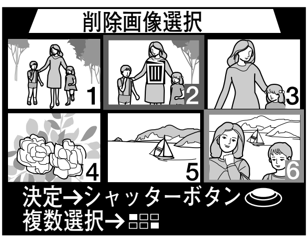
［設定内容］

- 選択画像削除　：画像を選択して削除する
- 全画像削除　：全画像を削除する

…全画像削除を選択すると、全画像の削除の確認画面で確認後に削除します。

…選択画像削除を選択すると、画像を選択する画像選択メニューに入り削除画像を選択します。

画像選択メニューで画像を選択し削除するには



…1コマ選択する場合は、黄色枠のカーソルで画像を選択してシャッターボタンを押すと、削除確認の画面が表示され、「はい」を選択してシャッターボタンを押すと削除が実行されます。

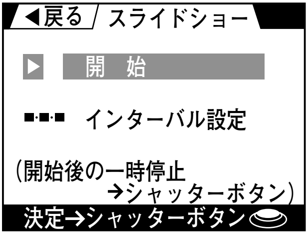
再生メニューの設定（つづき）

削除モード（つづき）

…複数選択ボタン、または削除ボタンを押すと、カーソルのある画像が選択されます。選択された画像は削除アイコンが画像上に表示されます。画像の選択は、シャッターボタンが押されるまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンまたは削除ボタンを押すと選択は解除されます。
…選択の完了後シャッターボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。「はい」を選択して再度シャッターボタンを押すと削除が実行されます。
●プロテクト設定済みの画像は、削除画像選択メニューでは表示されますが選択することはできません。
●非表示設定済みの画像は、削除画像選択メニューでは表示されません。

スライドショーモード

画像を一定時間間隔で順番に再生するスライドショー再生を行います。



［設定内容］

▶	開始	：スライドショーを開始します
■･■･■	インターバル設定	：インターバル時間を設定します（2、3、5、10秒）

…開始を選択して決定すると、先頭コマから最終コマにかけて、一定時間間隔で1コマずつ順番に撮影画像を再生し、モニタ表示します。

…スライドショーの再生中の動作は以下の通りです。

- 30分経過するとオートパワーオフ機能が働きます。
- 最終コマまで表示した後は、一時停止画面になります。
- スライドショー中にシャッターボタンを押すとスライドショーを中断し、一時停止画面に切り換わります。
- スライドショーを中止するには、メニューボタンを押します。

…スライドショー設定画面または一時停止画面でインターバル設定を選択した場合は、インターバル設定メニューになります。

…インターバル時間とは、ある画像の表示終了から、次の画像が表示開始されるまでの最短の時間です。はじめに設定してあるインターバル時間は3秒です。

…設定可能なインターバル時間は、2、3、5、10秒です。

…カーソルを移動させてインターバル時間を設定し、シャッターボタンで決定すると設定したインターバルでのスライドショーが再開します。

再生メニューの設定（つづき）

プロテクト設定

画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクトをかけることができます。



[操作方法]
再生メニュー設定画面でプロテクト設定にカーソルを合わせて選択すると、プロテクトする画像を選択する画像選択メニューが表示されます。

画像選択メニューで画像を選択してプロテクト設定するには



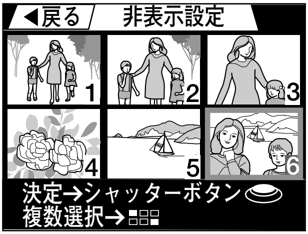
…1コマ選択する場合は、黄色枠のカーソルで画像を選択してシャッターボタンを押すと、プロテクト設定されます。

…複数選択ボタンを押すと、カーソルのある画像が選択されます。選択された画像はプロテクト表示が画像上に表示されます。画像の選択は、シャッターボタンが押されるまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンを押すと選択は解除されます。
…選択の完了後シャッターボタンを押すと、プロテクトの設定が実行されます。
…プロテクト設定の解除は、画像選択メニューで画像を再選択して行います。
…プロテクト設定画像は、DOSファイルフォーマットの「読み取り専用」属性がセットされます。

再生メニューの設定（つづき）

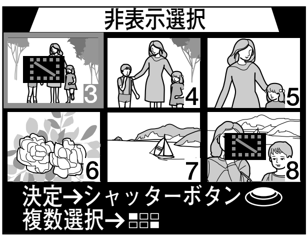
非表示設定

設定された画像を1コマ再生モードやサムネイルモード、スライドショーおよび各画像選択画面で表示させないようにします。



［設定方法］
再生メニュー設定画面で非表示設定にカーソルを合わせて選択すると、非表示にする画像を選択する画像選択メニューが表示されます。

画像選択メニューで画像を選択して非表示設定するには

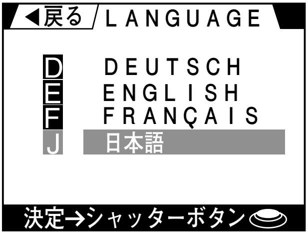


…1コマ選択する場合は、黄色枠のカーソルで画像を選択してシャッターボタンを押すと、非表示設定されます。

…複数選択ボタンを押すと、カーソルのある画像が選択されます。選択された画像は非表示アイコンが画像上に表示されます。画像の選択は、シャッターボタンが押されるまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンを押すと選択は解除されます。
…選択の完了後シャッターボタンを押すと、非表示設定が実行されます。
…非表示設定された画像は、非表示設定画面のみで表示されます。また、非表示設定された画像にはコマ番号は割り当てられません。ただし、非表示設定画面では非表示設定済み画像も含めた通し番号をコマ番号として表示します。
…非表示設定の解除は、非表示画像選択メニューで画像を再選択して行います。
…非表示設定画像は、DOSファイルフォーマットの「隠しファイル」属性がセットされます。

言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。



［設定内容］

- D DEUTSCH ：ドイツ語表示にします
- E ENGLISH ：英語表示にします
- F FRANÇAIS ：フランス語表示にします
- J 日本語 ：日本語表示にします

…言語が選択され、メニューの選択画面に戻った時点で表示する言語を変更します。

画面の明るさ

液晶モニタのバックライトの明るさを3段階の中から選択します。



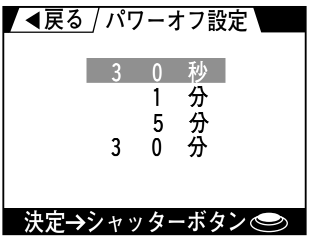
［設定内容］

－　：画面を暗くする
○　：画面を中間の明るさにします
＋　：画面を明るくします

…ズームボタンで上のいずれかを選択すると、カーソルの移動と連動し、リアルタイムで画面の明るさが変わります。
…設定された画面の明るさは撮影モード、再生モードの両モードで適用されます。

パワーオフ設定（再生時）

再生モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。
オートパワーオフ機能については ☞P.42



［設定内容］

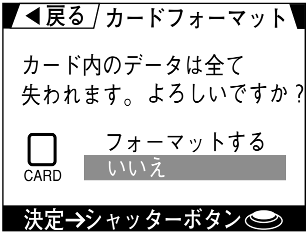
30秒　：オートパワーオフまで30秒に設定します
1分　：オートパワーオフまで1分に設定します
5分　：オートパワーオフまで5分に設定します
30分　：オートパワーオフまで30分に設定します

…ズームボタンでカーソルを移動させ上のいずれかを選択し、シャッターボタンを押すとオートパワーオフ開始時間がセットされます。
…ACアダプタ接続中は、オートパワーオフ開始時間は30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが装着されている場合にはビデオ信号は継続して出力され、液晶モニタは30分後にオフになります。

再生メニューの設定（つづき）

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。



［設定内容］

フォーマットする	：フォーマットを実行します
いいえ	：フォーマットをキャンセルします

…「フォーマットする」を選択してシャッターボタンを押すとフォーマットがはじまります。

…シャッターボタンを押すとすぐにフォーマットがはじまります。取り消しはできませんので、注意してください。

…フォーマットが終了すると撮影モニタ画面に戻ります。上部表示パネルか液晶モニタの表示で撮影可能枚数を確認してください。
撮影可能枚数のチェック☞P.38

●コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。

日時設定

内蔵時計の年月日・時刻の設定を行います。



［設定内容・設定方法］

設定内容・設定方法については、☞ P.29「年月日・時刻のセット」を参照してください。

接　　続

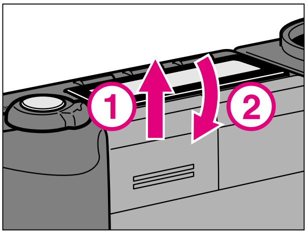
ビデオ、パソコンなどの外部機器との接続
方法の概要などを説明しています。

ビデオインターフェース

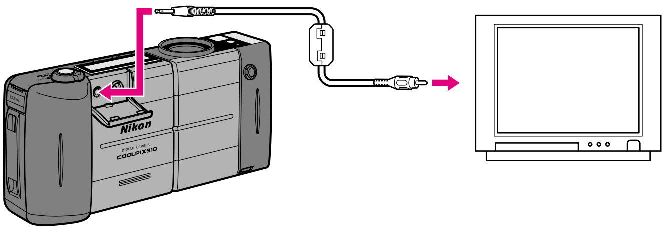
COOLPIX 910をテレビやビデオなどと接続して、テレビ画面にCOOLPIX 910の画像を表示させたり、ビデオに録画したりできます。接続には専用のビデオケーブルをご使用ください。

●COOLPIX 910以外で記録されたコンパクトフラッシュカードの画像データはテレビ画面に表示することはできません。

DC入力端子・ビデオ出力端子カバーは、① 上部表示パネル方向にスライドさせ、② 手前にあけてください。



ビデオインターフェースの機能



…COOLPIX 910のビデオ出力端子に専用ビデオケーブルを接続して使用します。
…ビデオ端子にビデオケーブルが接続されると、表示している画像データをビデオ出力します。

ビデオインターフェース（つづき）

…ビデオケーブルの接続時にも、ボタン入力などのカメラの各種動作は、接続前と同様に行えます。
…テレビなどには、液晶モニタがオフになっている場合を除いて、液晶モニタと同じ内容が表示されます。ただし、対面撮影中のモニタ画像は上下逆に表示されます。
…液晶モニタがオフになっている場合は、情報表示のない画像がビデオ出力されます。液晶モニタ表示とビデオ出力の関係は以下のようになります。

液晶モニタ	ビデオ出力
オフ	情報表示なし
情報表示あり	情報表示あり
情報表示なし	情報表示なし

パソコンとの接続

COOLPIX 910はシリアルインターフェースを装備しており、パソコンと接続してデータの送受信を行うことができます。

●COOLPIX 910以外で記録されたコンパクトフラッシュカードの画像データは転送できません。

シリアルインターフェースの機能

…シリアルインターフェースを使ってCOOLPIX 910とパソコンなどを接続する場合には、COOLPIX 910のシリアル端子に専用シリアルケーブルを使って接続します。シリアル通信ケーブルは接続するコンピュータ（Windows®、Macintosh）の種類に対応するケーブルをご使用ください。

パソコン接続キット（別売）PK-SC900でCOOLPIX 910用を接続する

●最初にパソコン接続キットの使用説明書をお読みになり、必要なソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

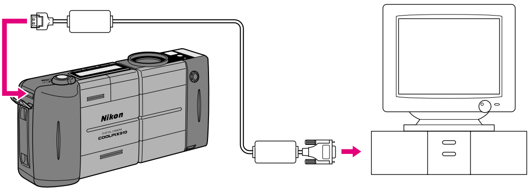
●カメラの電源をオフにしてください。撮影画像が保存されたコンパクトフラッシュカードが装着され、電池またはACアダプタが装着されていることをご確認ください。

●電池の消耗を防ぐためACアダプタ（パソコン接続キットに付属）のご使用をおすすめします。

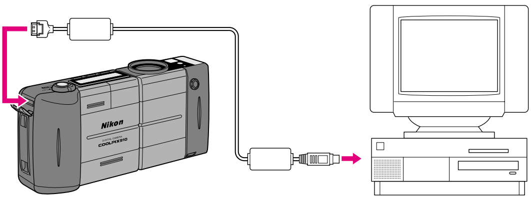
パソコンとの接続（つづき）

1 接続の開始

カメラのシリアル端子カバーを開け、シリアルケーブルでカメラとパソコンを接続する。



Windowsパソコンとの接続



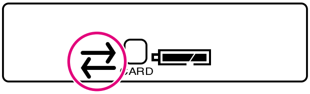
Macintoshとの接続

…シリアルケーブルのコネクタの形状はパソコンによって異なりますので、接続キットの使用説明書をお読みになり、適合するコネクタ／アダプタを選んで接続してください。

…パソコンのRS-232Cポート（シリアルポート）がD-sub9ピン以外の場合は、別途D-sub9ピンへの変換アダプタが必要になります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

カメラのセレクトダイヤルをOFF以外にセットする。

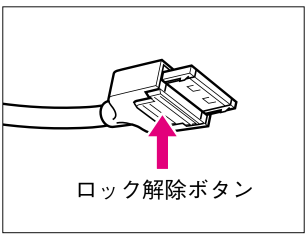
…カメラの操作ボタンはセレクトダイヤル以外は操作できません。
…カメラにシリアルケーブルが接続された状態でセレクトダイヤルをOFF以外にセットすると、カメラは通信待ち受け状態になります。PCと接続されるとPC通信モードとなります。
…上部表示パネルに通信モードマークが表示されます。パソコンとのデータ通信中は通信モードマークが点滅します。



●カメラとパソコンが通信中にはシリアルケーブルを絶対に抜かないでください。ソフトウェアが正常に動作しなくなるばかりか、データが破損したり、カメラの故障の原因となることがあります。

2 接続の終了

接続を終了する場合は、カメラのセレクトダイヤルをOFFにセットしてシリアルケーブルを外してください。
…シリアルケーブルをカメラから抜くときは、コネクタのロック解除ボタンを押しながら抜いてください。
●破損の恐れがありますので、シリアルケーブルは無理に引き抜かないでください。



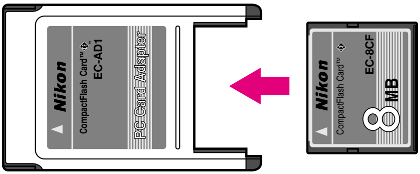
参考

パソコンとの接続（つづき）

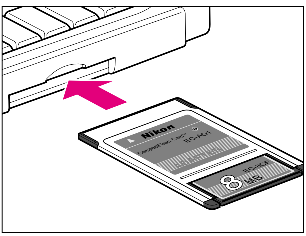
コンパクトフラッシュカードから直接パソコンに読みとる。

別売のPCカードアダプタEC-AD1を用いて、PCMCIA TYPE II準拠ATAカードとして、パソコンで直接画像を読み書きすることができます。

1 カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを、PCカードアダプタにセットする。



2 PCMCIA TYPE IIのカードに適合するスロットを持ち、ATAカードの読めるパソコンに装着する。



…装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体の使用説明書をご参照ください。

…ご使用の環境によっては、ソフトウェアのインストールや登録、設定が必要となる場合がありますので、ご使用のパソコン及びOSの使用説明書をご参照ください。

3 Exif(JPEG)をサポートしているアプリケーションソフトでコンパクトフラッシュカードの画像を開く。

…IM01E900という名前のディレクトリ（フォルダ）の中に

DSC00001.JPG
DSC00002.JPG
DSC00003.JPG

という名称で画像ファイルができています。

●カメラで使用する画像ファイル名は、DSC00001.JPG～DSC09999.JPGまでです。

参考

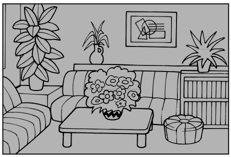
別売アクセサリーや、警告表示が出たときの対応方法、カメラの仕様などを説明してあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

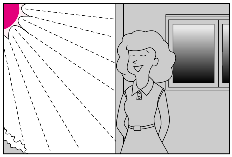
COOLPIX 910のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、被写体の条件によってはオートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります。その場合は、以下の方法で撮影してください。

オートフォーカスでのピント合わせができず、緑色LEDが高速に点滅してシャッターが切れない場合（液晶モニタ消灯時）

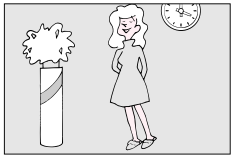
被写体と同じ距離にある明るくコントラストのはっきりしたものでピントを合わせ、フォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



被写体が非常に暗い場合



画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）

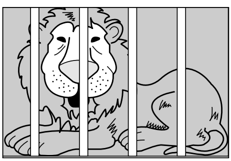


被写体のコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物等）

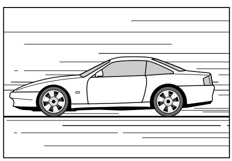
※液晶モニタ点灯時はピントが合っていなくてもシャッターがきれます。

緑色LEDが点灯し、シャッターが切れてもピントが合っていない場合

撮影したい被写体と同じ距離にあるものにあらかじめピントを合わせ、フォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。



遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物等）

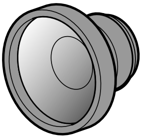


動きの早い被写体

参考

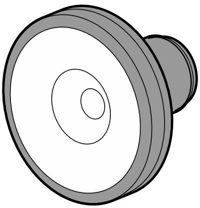
別売アクセサリー

ワイドコンバータ　WC-E24



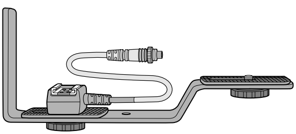
COOLPIX 910に取り付けて広角撮影を行うことができます。装着することにより撮影レンズの焦点距離が0.66倍に短縮されます。COOLPIX 910のワイド端状態で撮影すると最も広角となり、合成焦点距離は3.8mm（35mm判カメラで約24mmに相当）、合成FナンバーはF2.4のままです。

フィッシュアイコンバータ　FC-E8

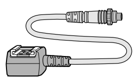


COOLPIX 910に取り付けて魚眼撮影を行うことができます。装着することにより撮影レンズの焦点距離が0.21倍に短縮され、画角約183°の円形画像を撮影することができます。

増灯ブラケット　SK-E900



増灯アダプタ　AS-E900



COOLPIX 910と当社製スピードライト（別売）を装着・接続してスピードライトの増灯撮影を行うためのブラケットです。内蔵および増灯スピードライトの発光量はCOOLPIX 910本体からコントロールするため、簡単に高性能なスピードライト撮影が可能となります。

パソコン接続キット PK-SC900

・同梱品

- ・プログラムCD-ROM・・・・・・・・・・・2枚

  ＜ニコンデジタルカメラ専用ソフト Nikon View 900、InMedia Slides＆Sound Plus 2.0［ニコン用試用版］のカップリングCD-ROM、Adobe PhotoDeluxe 2.0J（ニコン版）CD-ROM＞
- ・シリアルケーブル（Windows®用）・・1本
- ・シリアルケーブル（Macintosh用）・・1本
- ・ACアダプタ ・・・・・・・・・・・・1個
- ・使用説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・1冊
- ・ユーザー登録カード・・・・・・・・・・1枚
- ・ソフトウェア使用許諾契約書 ・・・・1枚

DOS／V機（IBM PC／AT互換機）、NEC PC-9800シリーズ、Macintoshおよびその互換機でご使用になれます。

動作環境

●Windows

Computer	IBM PC/AT互換機またはNEC PC-9801, 9821シリーズ
CPU	80486またはPentium
OS	Windows95以降
RAM	8MB以上の空き容量*
ハードディスク	プログラム起動時に20MB以上の空き容量*
モニタ解像度	640×480ドット以上
CD-ROMドライブ	インストールのため必要
インターフェース	シリアルインターフェース（転送速度19200bps以上）※

※パソコンのRS-232C（シリアルポート）がD-sub9ピン以外の場合は、別途D-sub9ピンへの変換アダプタが必要となります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

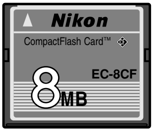
●Macintosh

Computer	Apple MacintoshまたはPower Macintosh
CPU	68040またはPowerPC
OS	MacOS 7.6.1J以降
RAM	8MB以上の空き容量*
ハードディスク	プログラム起動時に20MB以上の空き容量*
モニタ解像度	640×480ドット以上
CD-ROMドライブ	インストールのため必要
インターフェース	シリアルインターフェース

* 他のソフトウェアと合わせてご使用の場合の必要空き容量は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルおよび解説書にてご確認ください。

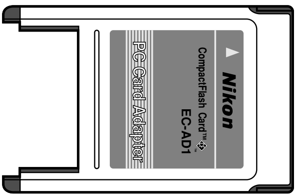
別売アクセサリー（つづき）

コンパクトフラッシュカード　EC-CFシリーズ
EC-8CF(8MB)／EC-15CF(15MB)／EC-30CF(30MB)／
EC-48CF(48MB)



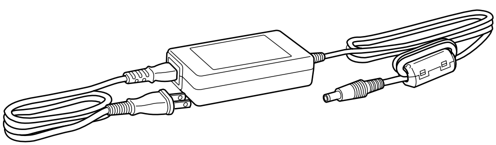
COOLPIX 910に装着し、撮影したデータ画像を記録するメディアです。小型軽量で携帯性に優れています。カードメモリ容量は8MB、15MB、30MB、48MBがあります。

PCカードアダプタ EC-AD1



コンパクトフラッシュカードと組み合わせることにより、PC Card Standard-ATAに準拠したPCカードとしてご使用になれます。

ACアダプタ EH-30



専用のACアダプタ（6.5V、2.4A）で、家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

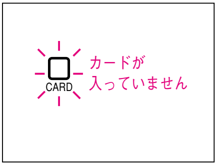
故障かな？と思ったら

下表にしたがって点検しても直らないときはお買い上げの販売店またはP.128に記載されている当社サービス部門までお問い合わせください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・ACアダプタが正しく接続されていない	28 24 26
	電源が入ってもすぐに切れる	・電池が消耗している ・低温下で使用している	28 11
撮影	シャッターボタンを押しても撮れない	・セレクトダイヤルがA-REC、またはM-RECの位置になっていない ・撮影可能なコンパクトフラッシュカードが入っていない ・撮影可能枚数がない →不要な画像を消去してください ・セルフタイマー撮影になっている ・スピードライト充電中（少しお待ちください）	27 35 38 61 62
	液晶モニタの表示や画像がはっきりしない	・液晶の明るさ調整が合っていない ・ゴミやほこりがついている ・蛍光管が寿命である →お買い上げ販売店または当社サービス部門にご相談ください	128
	ピントが合わない	・ピントが合わせにくい被写体である	119
	スピードライトが発光しない	・発光禁止モードになっている	62
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが調節できない状況で撮った	80
再生	再生できない	・セレクトダイヤルがPLAYの位置になっていない ・撮影済みのコンパクトフラッシュカードが入っていない ・撮影済みのコンパクトフラッシュカードの画像を全て消去した	27 124 126 126
	テレビに再生画像が出ない	・テレビと正しく接続されていない ・テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていない	111
	テレビの画像が鮮明に出ない、色がおかしい	・テレビと正しく接続されていない、接触不良が起きている→正しく接続してください ・テレビの調整がおかしい →テレビの使用説明書もよくお読みください	111
その他	パソコンと通信できない	・パソコンと正しく接続されていない →パソコン接続キットの使用説明書もよくお読みください	113

警告表示について

液晶モニタおよび上部表示パネルに下記の警告表示が点灯または点滅した場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の点をご確認ください。

こんなときは			ここを確かめてください
液晶モニタ	上部表示パネル		
	アイコン	枚数表示	
		[　　0]	●コンパクトフラッシュカードが入っていないか、正しくセットされていません。
		[Err]	●コンパクトフラッシュカードが正しくフォーマットされていません。
			●コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がないか、999枚撮影して撮影ができません。
		[Err]	●コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。

ここを確かめてください	参照ページ
●コンパクトフラッシュカードを正しくセットしてください。	P.35
●液晶モニタ画面の「フォーマットする」にカーソルを合わせてシャッターボタンを押して、コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。 ●正しくフォーマットされたコンパクトフラッシュカードに交換してください。	P.40
●カードに記録されている画像を削除してカードに画像ファイルを保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップを行ってください。 ●新しいカードに交換してください。 ●1枚のコンパクトフラッシュカードには1000枚以上同時に画像を記録できません。999枚撮影するとカウンターは0になり、液晶モニタには左のエラーが表示されます。	P.35 P.99
●COOLPIX 910用のコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。 ●コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡願います。	P.35 P.122

警告表示について（つづき）

こんなときは			ここを確かめてください
液晶モニタ	上部表示パネル		
	アイコン	枚数表示	
CARD 画像を登録できません	CARD		●画像ファイル名の番号のオーバーフローです。
表示可能な画像がありません			●記録されている画像が非表示設定されているために表示されません。
このファイルは表示できません			●画像ファイルを表示できません。
システムエラー		[Err]	●内部メモリーへのアクセス異常、MPU間の通信エラー、フォーカス動作異常、ズーム動作異常などのエラーです。

ここを確かめてください	参照ページ
●画像ファイル名の番号が9999になると液晶モニタには左のエラーが表示されます。	P.39 P.117
●再生メニューの非表示設定メニューを選択して、画像の非表示設定を解除してください。	P.104
●COOLPIX 910以外で撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されている場合に表示されます。	
●再度電源を入れ直すか、電池を入れ直してください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	

ユーザーサポートについて

このカメラの内容および操作方法について、さらにご質問がございましたら下記の当社サービス部門までお問い合わせください。

■内容および操作に関する技術的なお問い合わせは

〒130-0001　東京都墨田区吾妻橋1-23-1（アサヒビール吾妻橋ビル4F）
株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター
TEL（03）3829-3140　　　FAX(03)3829-3142
受付時間：祝祭日を除く月～金　10:00～17:00
※都合により休む場合があります。

お願い

- ●お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- ●より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」はコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140-8601　東京都品川区西大井1-6-3
株式会社ニコン　電子画像／東京サービス
TEL（03）3773-3621
受付時間：祝祭日を除く月～金　8:30～17:15
※都合により休む場合があります。

（株）ニコン　電子画像テクニカルセンター　行
TEL:03-3829-3140　FAX:03-3829-3142

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：	年　　月　　日
お買い上げ日：	年　　月　　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のコンピュータの機種名： メモリ容量： OSのバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のSCSIカード名：
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください）	

※本紙はコピーしてお使いください。

整理番号：

参考

主な仕様

型式	ニコンデジタルカメラE910
撮像素子	総画素数130万画素、有効画素数125万画素、1/2.7インチ
記録画素数	1,280×960画素
レンズ	3倍ズームニッコールレンズ、f＝5.8〜17.4mm（35mm換算約38〜115mm）、F2.4〜3.6
フォーカスモード	コンティニュアスAFモード（液晶モニタ使用撮影時） シングルAFモード（液晶モニタ非使用撮影時） 遠景モード、マクロモードに切り換え可能
撮影距離	50cm〜無限遠（マクロ時20cm〜50cm、ワイド端でレンズ前8cmまで合焦可能）
光学ファインダー	実像式光学ズームファインダー、視野率約85％、倍率0.44〜1.2、LED表示、視度補正機能付き（-2.0〜+1.0Dpt）
液晶モニタ*1	2インチ低温ポリシリコンTFT液晶、114,000画素、 バックライト輝度調節機能付き
記録画像ファイル形式	JPEG準拠（Exif2.0）
撮影可能コマ数	FINE約12コマ・NORMAL約24コマ・BASIC約48コマ（8MBカード時） FINE約22コマ・NORMAL約45コマ・BASIC約91コマ（15MBカード時） FINE約45コマ・NORMAL約91コマ・BASIC約183コマ（30MBカード時） FINE約73コマ・NORMAL約146コマ・BASIC約293コマ（48MBカード時）
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
撮影モード	フルオートモード／カスタムモード（撮影メニューによりホワイトバランス、測光モード、露出補正、階調補正、モノクロモード等の設定が可能）
撮影機能	1コマ撮影、連写、高速連写（2コマ／秒）、モノクロモード、 VGAモード、電子ズーム撮影モード、セルフタイマー
画質モード（圧縮時）	FINE（約1/4）・NORMAL（約1/8）・BASIC（約1/16）
測光方式	マルチ測光（64分割）、中央部重点測光、スポット測光
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用 （1/4秒〜1/750秒）
絞り	電磁駆動による絞り開口選択方式、F2.4〜F6.6(WIDE)
露出制御	プログラムAE　露出補正可能（-2〜+2EV）
露出連動範囲	EV4.5〜16（W）、EV5.8〜17（T）、ISO100換算
撮像感度	ISO64相当

ホワイトバランス	オートホワイトバランス、マニュアル設定可能
セルフタイマー	10秒
スピードライト	
ガイドナンバー	9（ISO100・m）
調光方式	自動調光制御
発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、スローシンクロ、および赤目軽減自動発光（スピードライト発光前にランププリ照射を実行）の5モード切り換え可能
増灯ターミナル	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（9分割）、スライドショー、2倍ズーム再生
消去機能	全コマ消去、指定コマ消去
インターフェース	シリアルインターフェース、ビデオ出力（NTSC）
入出力端子	DC入力端子、ビデオ出力端子、シリアル端子
電源＊2	単3形アルカリ乾電池×4本、単3形ニカド電池×4本、単3形ニッケル水素電池×4本、単3形リチウム乾電池×4本、外部電源（6.5V、2.5A）
使用条件	温度：0℃～+40℃ 湿度：85%以下（結露しないこと）
外形寸法	157（W）×75（H）×35（D）mm
重量	360g（電池別）
付属品	コンパクトフラッシュカード（8MB）、ソフトケース、ストラップ、ビデオケーブル、単3形アルカリ乾電池4本、使用説明書

＊1：液晶の特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。また、液晶モニタ内にはバックライトとして専用蛍光管を使用しています。画面が暗くなったり、ちらつき始めたりしたときは、当社サービス部門にお問い合わせください。

＊2：電池寿命はアルカリ乾電池使用で約60分（FINEモードで約120コマ以上）です。
なお、電池寿命は常温時の当社測定条件（撮影毎にズーム、約3割のストロボ撮影）での目安です。

索　引

英•数

あ

参考

索　引（つづき）

参考

索　引（つづき）

索　引（つづき）

株式会社ニコン

Nikon

6MJ41500